機密受第2846號

甲号

明治四十一年十一月廿七日接受
政務局
第一課

秘 鐵第五三號

明治四十一年十一月廿七日

逓信大臣男爵後藤新平

外務大臣伯爵小村寿太郎殿

照會

今回南満洲鐵道株式會社副總裁中村是公ヨリ撫順炭坑区域確定方ニ關シ別紙寫之通申出候處右ハ事情尤モノ次第ニ有之候間本件ニ就御意見承知致度候

1-1809
0308
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

寫

當會社撫順炭坑ノ區域ニ關シテハ從來種々ノ問題相生シ候處今回清國人ニ於テ同炭坑老虎台附近ニ炭坑採掘ヲ出願シ清國官憲ノ許可ヲ得タル旨申出候趣ヲ以テ別紙寫之通リ炭坑長ヨリ報告有之速ニ右區域確定ノ方法ヲ講セサレハ今後幾多複雜ノ問題相生シ經營上支障不尠義ト奉存候間目下夫々御詮議中トハ存候得共可成速ニ清國政府トノ間ニ御協定ヲ了セラレ候樣特ニ御配慮相仰度此段上申候也

明治四十一年十一月廿一日

南滿洲鐵道株式會社

副總裁 中村是公

遞信大臣男爵 後藤新平殿

1-1809

0309

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

寫

明治四十一年拾月廿二日

撫順炭坑長　松田武一郎（印）

副総裁中村是公殿

撫順附近坑區ノ件

今朝清商周從龍来訪同人ハ長崎、上海、芝罘、營口、鐵嶺、及奉天ノ各地ニ在ル裕和盛號ノ主人ニシテ韓國ニ在テハ京城、仁川、釜山、木浦ニ義生盛號ノ名ニテ營業致シ候由同人ハ昨年以来老虎台ノ東方ニ坑區ヲ出願シ今年許可ヲ得タリ未タ着手セサルモ早晩開坑シ度當事撫順炭坑ノ同意ヲ得テ取計ヒ度差當リ試錐ヲ施シ度ニ付炭坑ニテ施行致呉間敷ヤトノ相談有之候就テハ坑區ノ面積等質問仕リ左ノ事實ヲ確メ候

一　坑區ノ廣サハ龍補壙ノ西ニテ東西八清里南北貳清里ナレ氏東ノ方ニ他ノ出願者アリシ為メ之ヲ除キ實際八清里ヨリ少ク東平公司ノ標杭ヲ建テル區域内ナリ但シ東平公司ト云フモ東洋ノ東ト實毋（日本人）ノ姓ナル平ヲ取リタルモノニテ周一巴人ノ許可ヲ得タルモノナリト云フ

一　奉天官憲ニテハ老虎台以東ハ撫順炭坑ニ屬セス興京縣ト撫順縣ノ境界線ニテ區分シ興京縣ニ屬スルモノハ支那ニテ勝手ニ處分シ

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

得ルモノトナシ同人之ヲ出願ノ上許可ヲ得タリトテ之ヲ
同人ハ唐紹儀、梁参賛等ト懇意ナル由度々一已
人トシテ許可ヲ得タリト採掘ス處ヨリ邪推スレハ或ハ奉
天ノ役員ト内實協同シ同人カ名義人ニアラスヤトモ
被存候、試掘ヲ施シ石炭ヲ見タシト云ヒ不日米國
ヘ行クト云ヒ鉄道ノ延長ヲ希望スルト云ヒ萬事當
坑ト相談シテ採業シタシト云ヒ訪問ノ目的ハ當方
ノ意向ヲ探ルニアリト認メラレ左ノ如ク答置候
一當坑ノ境界以内ニ於テ若シ仕事ヲ為ス時ハ差止
ムヘキナリ又タ試錐モ試掘モ行ハサル方同人ノ為メ
得策ナリ万一着手スル時ハ非常ノ面倒ヲ譲ス
可シ坑區界ノ議論ハ日清政府ニテ爭フ可キ
事ニテ当方ハ更ニ貴君ト論弁スルノ必要ナク当
方ハ貴君カ炭坑ニ来リ許サレタル事ヲ本社ヘ報告
スル外ナク又試錐ヲ施シ又ハ開坑スルカ如キハ決シテ同
意スル能ハスト答ヘ満鉄ハ都督府ニテ管轄
スルカト質問シ然リト答ヘタルニ大島都督ニ面會
シテ相談スル了アラントト申居リ雑談ノ後引取候
打鶯子ニ於ケル採掘許可ト云ヒ今又東華公司ノ許
可ト云ヒ支那政府ニテハ皆自国ノ採掘権アル区域
トシテ處分致居事ト被存候甚遺憾ニ存候元
来撫順炭坑ノ區域ニ付テハ不明瞭ナル点アリテ日清
両政府ニ於テ速カニ更ニ協確定ノ必要アルハ昨年以
来屡々申上候如ニ有之遷延スルニ従ヒ漸次問題

1-1809
0311
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ハ複雑トナリ之カ解決ニ困難ヲ生ス可ク或ハ唐周等米國ニ於テ資本家ト結托セサルトモ限ラレス甚タ心配仕候就テハ当境界問題ニ付特ニ御留意相成可然様御取計相成度此段得貴意候

遞信省

1-1809
0312
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

拝啓益御清勝奉
賀候陳ハ此程黒松
理事ヨリ御内意有之

1-1809

0313

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

伺外船用揚候上ニ於
課税之儀ハ相省
関之通リ重ニテ来
竈有之相成候上
税シテ御意見相成
情節ト存候ニ付テハ
肥田家葬儀之

為メ時刻未後レ不
申何レ明日拝参
御面語可申上候
右等ニ取紛御内
覧ニ供シ置候也
六月廿八日　村

在大連清野理事
倉知局長殿

1-1809

0316

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

電報譯文

發信者名	大塚理事
受信者名	清野理事
發着時間	明治41年11月28日午後4時40分發 明治〃年〃月〃日午〃7時15分着

船用焚料炭ニ関シ本月十日ノ打電ニ対シ十三日附貴電ニテ外務省モ同意見トノ旨承知然ルニ当地税関長ハ総税務司ニ経伺ノ結果船用炭モ課税スベキモノトナシ来ル十二月一日ヨリ実施スル旨本日通達アリタリ如何取計フベキヤ外務省ト相談ノ上何分ノ返待ツ

會

南満洲鐵道株式會社東京支社

1-1809

0317

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

58

暗

明治　年　月　日起草
同　年　月　日發遣

電送第3366號
明治41年12月1日後4時31分發

在清
伊集院公使
林大臣

第二六五號

満鐵ニテ大連ニ出入スル船舶ニ對シ船用
焚料炭トシテ撫順炭ヲ販賣セントシタル処
大連税関長ハ總税務司ノ（但出口ノ）依命船用炭モ
課税スヘキモノトナシ十二月一日ヨリ實施スル旨満鐵
ニ通達シタル趣ノ処大連税関協定第[illegible]條ニ據
レバ右ハ課税セラルヘキモノニ非スト認メラルルヲ以テ
總税務司ニ對シ右決定ノ取計方[illegible]交渉
アリタシ

外務省

明治　年　月　日起草
同　四十一年十二月一日発遣
明治四十一年十二月一日接受

機密送第98號

政務局　主任

淨書　校正　原手

林　　董

在清
伊集院公使　大臣

拝啓
撫順炭坑ニ関スル件

撫順炭坑ノ件ニ関シ別紙写甲號ノ通阿部代理公使ヨリ申越有之候ニ付別紙写乙號ノ通回答致置候
委細右ニテ同御承知相成度此段申進候
敬具

別紙
甲　阿部代理公使来電第五三號写
乙　〃　へ往電案写

外務省

1-1809
0319
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第17門

大臣　安

主任　書

明治四十一年十二月一日起草
同　年十二月一日發遣

政務局

明治四十一年十二月一日接受
明治四十一年十二月一日發送

淨書　校正

機密送第五九號

小村大臣

萩原總領事

機密

撫順炭坑ニ關スル件

撫順炭坑ノ區域確定方ニ關シ十一月二十六日付
機密第五三號ヲ以テ御申越ノ趣了承撫順
炭坑ノ件ニ關シテハ先般閣議決定ノ通リ
清國ニ提議スヘキ積ニ有之候右
撫順炭坑區域問題モ右ト同時ニ解決ノ筈ニ
為其筋當局ニ伊集院公使ニ廻訓致置
候間右御含置相成度此段申進候也

外務省

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

大臣 次官 政務 通商 人事 會計 取調

No. 4316 暗

奉天發 本省着 十一月一日后八、二〇 十一月二日前一一、〇

岡部総領事代理

小村外務大臣

重要 第一六三號

撫順炭坑ニテハ老虎台（ロウコダイ）ヨリ東方ニ連續セル礦脈一帯ヲ其ノ權利ニ屬セルモノト自認セルニ近來清國人ガ打鶯子ニ試掘ヲ始メタルニ因リ之ヲ差止メントスルモ聽カス依リテ右ハ清國政府ガ老虎台以東ノ諸礦區ヲ係争地トシテ機先ヲ制スル手段ヲ弄スルモノト見做シ之ニ對抗スル爲メ満鐵ニテハ俄カニ十一月二日ヨリ新屯ニ試掘ヲ始メタリ右ニ對シ陶大均ハ本官ニ對シ工事ノ停止ヲ請求シ來レリ依リテ本官ハ松田炭坑長ト打合セノ上新屯（龍鳳坎（リウホウカン））附及打鶯子ハ係争地トシテ他日問題ノ決定スル迄日清兩國ニ於テ開坑ニ着手セザルモ差支ナキ旨ヲ以テ陶大均ノ交渉ニ應シタルトコロ陶ハ新屯ニ就テノミ日清兩國開坑セザルコトニ同意スルモ打鶯子ハ別問題ナリトシテ應セス然ルニ一面撫順知縣ハ昨日巡警ヲ新屯ニ派シテ本日限工事ヲ停止セサレバ撫順一帯ノ清國人夫ノ使役ヲ阻礙スル旨聲明シタルヲ以テ松田ハ大ニ憤激シ兵力ノ保護ヲ借リテ巡警ノ暴挙

統、陸、逓、

1-1809

0321

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニ對抗スルノ準備ヲ為シ形勢容易ナラサルノ観
アリ依リテ本官ハ新屯ニ於テハ将来問題ノ決定
スル迄清國ニ於テ何等着手スル所ナキ旨ヲ確
メタル上假リニ暫ラク満鐵ノ開掘工事ヲ停止セ
シメ以テ打篙子ノ清國工事停止ノ交渉ヲ継續ス
ルコトニ同意シ其旨直チニ松田ニ通知シ置タリ
松田ハ本日限假リニ工事ヲ停止スルモ工夫ハ依
然新屯ニ止マラシメ尚ホ兵力ヲ以テ保護セシム
ル旨

本電信ハ公使ニ電報セリ

第17門

大臣
次官
政務
通商
人事
會計
取調

No. 4331 (手)

第一六六号

奉天發 明治四十一年十一月廿日 後一、〇〇
東京着 後三、三五

小村外務大臣 岡部総領事代理

往電第一六三号ハ都督ヘモ電報セリ

1-1809

0322

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

60

第17門

明治　年　月　日起草
同　年　月　日發遣

主任

電送第3393號
明治41年12月3日午後5時20分發

小村大臣

奉天　大出(?)

萩原(?)總領事

第一四九號

貴電一六三號ニ關シ

帝國政府ハ清國ノ不才年(?)ニ

厳ニ清國政府ノ請求ヲ否認シ一切ノ

交渉事務ヲ見合セ居ルニ際シ

關スルコトナリ從來ノ如キ

際相前ニ於テ右工事ヲ停止シ

本件問題ノ解決ヲ待ツコトトナスヘキ

旨ヲ總督ニ交渉セラルヽハ好都合ナルヘシ

右在清公使ニ轉電セリ

第17門

明治四十一年十二月四日　　理事犬塚信太郎

東京支社
清野理事殿

拝啓
新屯鑛区開掘ニ付知縣交渉顛末ノ件
撫順炭坑老虎台ヲ東方ニ距ル約六清里新屯村ニ於テ東平公司ノ名義ノ下ニ裕和盛号主周銘龍ガ清国政府ヨリ石炭ノ採掘許可ヲ得タルニ依リ試掘ヲ施シ度旨炭坑ニ申出テタルニヨリ彼等ノ試掘ニ先チ炭坑ニテハ十一月四日新屯ノ南方ノ山地ニ斜坑一ケ所ノ開掘ニ着手セリ
是レヨリ先キ炭坑ニテ試掘ニ着手セルト聞キ東平公司ハ使用人ヲシテ我カ採炭区域図面ノ閲覧又ハ開掘ニ関スル異議ヲ申出テシモ一切其申込ヲ拒ミ置キタルニ当該村長ニ対シ脅迫的ニ我カ開掘ニ抗議セシムル等陋手段ヲ以テ妨害ヲ試ミントセリ然ルニ去月二十四日撫順知縣出坑松田炭坑長ニ面会シ別紙写ノ如キ問答ヲ為シ引取レリ
因ニ新屯ハ現時採掘シツヽアル老虎台坑ト同一炭層ニ属セリ
右及御通牒候也
敬具

南満洲鐵道株式會社

第一課

満洲礦山

1-1809
0324
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

在新屯炭坑用地ニ関スル坑長對撫順縣知事

朱孝威氏交渉顛末

明治四十一年十二月十四日午後二時撫順縣知事朱孝威氏当坑事務所ニ来リ新屯ニ於ケル採炭用地ニ関シ松田坑長ト左記ノ通リ会談シ仝日午後四時退去セラレタリ

知事　過日ハ敝国皇上ノ不幸ニ関シテ早速人ヲ派シテ弔詞ヲ述ヘラレタル厚誼ヲ謝ス

本日当所ニ来リシハ一ハ右答礼ノ為メ一ハ先年従来当方新屯ニ於ケル貴坑ノ採炭用地ニ関シ協議セシカ為メナリ

坑長　素ヨリ之ニ対シ答礼ヲ奉スル厚誼ヲ謝ス

知事　小官ハ撫順知縣知事ナリ即チ地方官ナリ故ニ管轄区域内ノ各事業ニ対シテ事ノ外貴人ニ関スル事ハ之ヲ交渉シ又ハ保護スル任務アリヲ保護シテ互換ニ商議シ隠便ニ処理セシコトヲ希望ス

坑長　余モ和議シ之ヲ希望スルモノナリ

知事　小官本日新屯ノ地ニ至リ該地ノ土工ニ従事セル貴公人ニ就テ該工事ノ目的及許可ノ有無等ヲ尋ネシモ先方ハ右炭坑ニ至リ許可セラレタリトノ答ヲ得タリ依テ

2
1-1809
0325
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

之ヲ各坑ニ並リ事務シ之ハ撫順炭坑長ノ
命令ニ依ルモノニシテ其詳細ハ千金寨老
坑事務所ニ就キ根識ロラレタシトノ事ニ
ツキ参上セリ

坑長 貴坑ノ新屯ニ於ケル土工ハ当坑ノ事業ニ
相違ナシ

部外 小官ハ地方官ナルヲ以テ当該管内ノ土
ヲ守護スルノ責アリ於ニ管内ノ土地ニ関ス
ル重大ナル問題ノ発生ニ関シテハ必ズ統轄
又ハ交渉司署何分ノ通牒ヲ受クヘキモノ
ナリ然ルニ貴坑ガ新屯ノ地ニ開坑セントスル
事ニ関シテハ統轄又ハ交渉司署何等
ノ通牒ニ接セズ而貴会社ヨリモ何等ノ
照会ナシ果シテ該新屯ニ於テ新ニ開坑ス
ルニ付キ奉天路府ノ特許ヲ得タルモノナ
レハ右特許證ヲ拝見致シタシ

坑長 国際条約(ポーツマス平和条約日清条約後条
約)ノ結果及ビ之ニ基ク我国権ノ作用ニ依
リ会社ノ所有ニ帰シタル所謂撫順炭坑
ノ坑区内ニ新屯付近ノ鉱脈ハ包含セラレ
タルモノナリ故ニ之ヲ開坑スルニ際シ更ニ貴
国政府ノ許可ヲ得ルコトナシ又之レヲ

南満洲鐵道株式會社

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

得ルノ必要ナキナリ従テ之ニ関連セル為メ條
條約ノ條章以外ニ在ル特権ナルモノ
ヲ御覧ニ供スルコト能ハサルハ甚タ遺憾トス
スル所ナリ

知師　果シテ貴説ノ如ク貴公ヲ機ノ作用ニ擬
リ換言セハ貴政府ノ命令ニ拠リ貴公
私カ去年冬以来ノ地ニテ採炭ノ為メ開坑
セルモノトセハ之レヲ貴国交渉司ニ通牒セ
サル筈ナレ然ルニ我当局者之ヲ知ラス是レ
或ハ貴公社一個ノ考案ニ出テタルモノニアラ
ラサルナキカ現ニ貴坑ノ土地買収及砂石
採取ニ関シテモ官憲ニ契ヲ交渉司
ヨリ何等ノ通牒ニ接セリ然ルニ本件ニ関シ
テノミ之ナキハ其内容ニ関シテ甚タ疑ナ
キ能ハサルモノナリ

坑長　貴国交渉司ハ之レヲ知悉セサルコト第十カ
ルヘシ現ニ明治四十一年二月当坑ハ実地ニ
就キテ測量シ木標ヲ樹立シテ以テ坑界
ヲ定メタリ後述域ノ東方ハ大葛嘴子等
ノ地ニ及ヘリ右実測図面ハ是ニ之レヲ貴国
交渉司ニ送付シ後坑界ヲ知ラシメタリ
右ノ通牒ニ対シテ当坑ハ今ハ近貴公文

南満洲鐵道株式會社

1-1809
0327
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

海関ヨリ何等ノ抗議ニ接セス故ニ貴公安
海関ハ已ニ之レヲ默認セルモノト見做スヘ
キモノナリ
紅線所ノ測図ハ契約委員立合セス之ニ貴局ノ
任意ニ測定セラレシモノナリ又貴局ノ抗議ト
ハ曠脈ヲ意味スルモノナルカ果シテ曠脈ヲ
意味

南滿洲鐵道株式會社

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

スルモノトセハ老爺ニ請フ地下ノ礦物ニ沿テ
新屯地下ノ礦脈ニ掘進可キモノナリ然ルニ
ニ在ル採炭ノ為メ新ニ新屯ノ地上面ヲ使用
スルハ非ナリ
坑長、ポーツマス平和條約及日清善後協約ノ
約定及之レニ基キ我国政府ヨリ附与
セラレタル我鉄道会社ノ権能ニ因テ又貴
国政府カ我鉄道会社ノ為メ予サレタル数
多ノ前例ニ由テ会社カ営業ノ為メ必要ナル
地ハ無償ニテ民有地ハ時価ヲ以テ収用スル
コトヲ得ルモノナリ現ニ新屯ニ於ケル当坑用
地ノ如キ公有地ニ属スルヲ以テ之レヲ使用ス
ルニ就キ豫メ該村長ニ話モ重ネタリ妄リニ
之レヲ使用セリトノ非難ヲ受クルハ甚タ遺
憾ニシテ会社ノ忍ヒ能ハサル所ナリ
参領、老爺窪ノ炭坑ハ貴国カ兵力ヲ以テ奪取シタルモ
ナリ現ニ本件ハ保総督ト奉天政府トノ懸
案ニナリ居ルニ非スヤ何ヲ以テ之ヲ貴会社
ノ正当ナル所有物ナリト云フヤ
坑長、貴説ノ如ク撫順ハ戦時中兵力ヲ以テ露
国ヨリ之レヲ得タリ然レトモ貴国ハ更ニ之レヲ
獲得セシメタルモノニシテ非ス善後協約ノ照臨

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

條約ノ約定ト我占據權ノ作用ニヨリ會社
ノ所屬ニ係ユルモノナリ
院長、貴館ノ此ノ交涉ハ日ノ手ヲ經スシテ我々ト更
彼ト親シク直接ニ協議ヲ遂ゲ之ヲ處理セシ
トスルニハ本件ハ其ノ性質重大ニ失ス換言
スレハ極メテ大ナル問ハ國ト國トノ問題ナリ余ハ當
院ノ院長ナリト雖モ國際問題ニ於テ容喙ス
ルノ權能ハ之レヲ有セズ故ニ本件ヲ茲ニ商
議スルハ無益ノ事ナリ要之ニ對シ以上余ノ
陳述セル所ノモノハ余一個ノ私見ナリ加之
余ハ院長トシテ本社總裁ノ指揮ノ下ニ行
動セルモノナリ故ニ當院ノ事業經營ニ關シ
テ建議アラハ外交上ノ手續ヲ踏マレタシ正
式ノ手續ニ依ルニ合理ノ照會ニ對シテハ余
ハ之レヲ無視スルコト能ハザルモノナリ
縣知、再言ス余ハ地方官ナリ地方官ハ守土ノ責ヲ
有ス故ニ國土ニ關スル不法ノ行爲ト認ムベキ
モノヲ放任シ之レヲ顧ミザルハ余ノ職責上
忍ビ能ハザル所ナリ故ニ余ハ貴殿ニ對シテ
新ニ指示セル土工ヲ停止セシメント欲ス
院長、縣知ノ如ク余ハ本社ヨリノ通牒又ハ許可證
貴館ヨリ照會ニ接セザレハ妄リニ工事ヲ中

南滿洲鐵道株式會社

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

止メルヿ能ハス

翁、然ラハ何故ニ弊国交渉員ノ交渉ヲ俟タル

貴國領事館ヨリ照会アリテ該工事ニ着

手セルカ

坑長、前述ノ理由ニ據リ所謂政府命令換言

スレハ本社総裁ノ命令ニ據テ工事ニ着手

セルモノナルヲ以テ之レヲ停止スルモ亦本社ノ

命令ニ據ラサルヘカラス

翁、然ラハ吾等ハ該工事ヲ中止セシメタシ

坑長、能ハス然レトモ両国ノ照会ニヨリテ正當ト認ムヘ

キモノニ對シテハ之レニ従ハサルヲ以テ両式ノ手續

ヲ踏マレタシ

翁、吾曹ノ工事中止ダニ承諾スル能ハストハ貴

説甚タ礼ナキニ似タリ既ニ礼ナシ紛糾ヲ醸生

スルハ免レ能ハサル所ナリ余ハ弊国交渉員ト

會議シ我カ権能ノ範囲内ニ於テ貴坑ノ

使役セル苦力ニ退去ヲ命シ以テ貴坑ヲシテ

弊国人ヲ使用スル能ハサラシムルノ策ヲ採

ルヘシ

坑長、之ハ國際條約ノ何タルヲ解セサルノ暴言ナリ

抑モ炭坑ノ経営ニ甚タ巨額ノ投資ニ依リ

最モ大ナル利益ヲ受クルモノハ貴国人ナル故ニ

南満洲鐵道株式會社

1-1809

0331

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

所謂山東兎ニ角五日間停工云々ノ為ナ
ニ所謂罷業ニ出ツルハ貴殿ノ為メ又貴
国人ノ為メニ甚タ不利益ナル結果ヲ来
スモノナリト思考セラル余輩ハ再言ス余輩ハ
従フ可キノ道理ニ従ヒ従フ可キノ命令ニ
従フ可キモノナリ故ニ余輩ハ貴殿ノ為メニ計ルニ
所謂罷業ニ出テス両国ノ外交手段ニ
ヨリ本件ニ対シ交渉ヲ開始スルハ第一ノ
好策ナルモノナラント信ス猶テ秩序ニ於ケル
炭坑ノ工事ニ従事セル貴国人ニ対シ努メ
テ平穏ナラシムルコトヲ希望ス

所長、諒承セリ明日余ハ奉天ニ至リ本間領事
并當者ト協議セント欲ス

坑長、親切ナル来照ヲ厚フシ何等貴国ニ於モ
満足ス可キ了解ヲ與ヘラレ候ハヽ可ナリト
ハ余ノ甚タ遺憾トスル所ナリ

南満洲鐵道株式會社

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第17門

電報譯文

發信者名　中村副総裁

受信者名　清野理事

發着時間　明治41年5月4日午后3時20分發
明治　年　月　日午　時　分着

左マデ大袈裟ノコトニ非ズ今日マデノ成行
[illegible]要左ノ如シ
昨年来大営咀子（老虎台ノ東約二里）附
近ニテ清國人ノ採堀ヲ為スモノアリ度々威嚇ヲ
加ヘタルモ何分遠方ノコトニテ充分監視届カズ
絶対ニ之レヲ防遏スル能ハザリシ次第ナリシガ
近来最ト近距離ノ新屯（老虎台ノ東約

第一課

撫順鑛山

電報譯文

發信者名

受信者名

發着時間　明治　年　月　日午　時　分發
明治　年　月　日午　時　分着

一里）ニテ採堀ヲ為サントスル計画ヲ為スモノ
アリトノコトヲ聞キタルヲ以テ機先ヲ制スルノ
手段トシテ該新屯ニ撫順炭坑ヨリ人ヲ派シ
十一月二日ヨリ試堀ヲ為サシムルコトヽシタリ
右ニ対シ陶大均ヨリ奉天欽差ヘ工事ノ停
止ヲ求メ来レリ依テ新屯ニテハ清國側ニ
テモ何等着手セザルコトヲ條件トシテ当方

1-1809

0333

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

電報譯文

發信者名	受信者名	發着時間
		明治　年　月　日午　時　分發 明治　年　月　日午　時　分着

ノ工事ヲ停止スルコトニ決定シ尚大倉咀子
ニ於ケル清國人ノ採掘ヲモ停止セシムルコト
ニ交渉中ナリ

1-1809

0334

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

61

大臣
次官
政務
通商
人事
會計
取調

No.三八二

（暗）
奉天発
本省着 四十年十二月五日後一、三五
六、八

小村外務大臣　岡部總領事代理

第一七〇号

貴電第一四九号在清公使ヨリモ撫
順及臨江知縣ノ不法問題ニ関シ
同様ノ主旨ノ電訓アリタルニ依リ
本日徐總督ヲ訪問シ御訓令ノ趣
ヲ傳ヘタルニ徐總督ハ今回清國ノ
出事ニ対シ帝國ノ好意アル援助ハ
深ク感謝スル所ニシテ此和親ヲ傷

撫順炭坑

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

タルカ如キ考ハ毫モ懐キ居ラサルコト
ヲ辨明シ撫順問題ハ係争地
一体ニ双方共工事ヲ停止スヘキ本官
ノ要求ニ應スル様清國側ニテ目下
評議中ナル旨又臨江知縣ノ不法
命令ニ関シテハ既ニ出来得ル丈速
達ノ通信法ニ依リ其行為ヲ差止
置タル次第ヲ述ヘ總督自分ノ本
件ニ處スル誠意ト此際ニ於ケル帝
國ノ好意ニ対スル感謝トヲ貴大臣及

在清公使ニ傳ヘラレタシト答ヘタリ
又陶太均ハ別ニ今朝書面ヲ送リ總
督ハ臨江縣事件調査ノ為特ニ委
員ヲ派遣シ調査シ相当ノ處置ヲ
ナスヘキニ付此際韓國警察官カ
江ヲ渡リテ清國ニ来リ何等誤解ノ
為事端ヲ生スルコトナカラシメタキ旨
要求シ来レリ依テ可然御措置ヲ請
フ

在清公使ヘ電報セリ

1-1809

0337

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

62

大臣　次官　政務　通商　人事　會計　取調

No. 四三八四（暗）

北京発
本省着　四十一年十二月五日後 四.二〇 / 七.四〇

伊集院公使

小村外務大臣

第[illegible]七号

貴電第二六五号ニ関シ「ブレドレー」ト交渉ニ及ヒタルニ清國産石炭ヲ船用炭トシテ積込ム場合ニハ従来各地共ニ輸出税ヲ徴収シ居リ膠州湾ニ於テモ亦同様ニテ且大連取極ハ一般條約ヲ變更スルノ主意ニアラサレハ本件免税ノ義ハ同意シ難シト答ヘタリ

[illegible]

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第17門

明治四十一年十二月　日

大連税関
立花政樹

倉知政務局長殿

撫順炭ニ件ニ付申上

(a)
(1) 満鉄ノ主張ハ
撫順炭ハ開平炭、青島炭同様一噸ニ付一銭(十分ノ一両ナル)ノ輸出税ヲ課セラレタキ事

(2) 船舶用(燃料)ノ撫順炭ハ無税タルベキ事

備考 大連税関設置ニ関スル取極並ニ税関假規則中ニ
「他所ヘ船積セラルヽ貨物ハ一一輸出税ヲ納ムベシ」(取極第六条)
「清国貨物ヲ輸出セントスル時ハ輸出税ヲ納ムベシ」(假規則第四条)
トアリテ船舶ニテ消費スル貨物ニ就テハ何等ノ規定ナキヲ以テ
無税タルベシトノ説ナリ

(b) 税関ノ主張ハ
(3) 撫順炭ハ一銭ノ輸出税ヲ適用スル表中ニ記載ナキヲ以テ其他貨物ナル項目ヲ適用シ三銭ヲ課スル事

備考 膠州湾ニ於テ開平、青島炭ノ輸出税ハ一銭ニ過ギザルモ独乙政府ト清国政府トノ交渉ノ結果現実ハ一銭ノ税ヲ適用スルコトトナリ
現今撫順炭ハ三銭ノ内二銭ハ控除ノ下ニ(rebate)

(4) 燃料ノ消費ハ他外国ニ於テモ課税シツヽアリ(膠州湾)(東清鉄道)ニ付シ居ルナリ
取極及假規則ノ精神ハ租借地内ニ於テ消費セラルヽ清国産ノ貨物ハ無税トスルモ租借地ヲ離レテ他ニ赴クモノニ対シテハ其途中ニ於テ消費セラルヽト否トヲ問ハズ課税スヘキナリ 借地領海ヲ離ルルトキハ其搭載ノ燃料炭ハ之ヲ輸出ト称スル事ヲ得ルナリ

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

備考　右ノ特殊ニ基キ当関ハ相備地内ヨリ往復スル汽
船（[illegible]通ヒ）又ハ当港内ニ使用スル戎克其他ノ小蒸気
船用ノ燃料ニ限リテハ課税シ居ラス
既ニ当関ハ三銭ノ税金ヲ徴スル余裕ヲ提供セシメテ燃料
炭ノ積入レヲ許シ居ルナリ
右ノ第三付何等ノ解決ヲ附セス当税関ハ百斤ニ付キ税
却テ三分ノ一ナル一個人ト云フ土地ニ於テ税金三銭ヲ一銭
ニ軽減スルノハ此島ノ例モアルコトナレハ当地モ何モ同ニスヘ
キ又燃料用ヲ無税トスルコトハ[illegible]頗ル当業者ノ[illegible]出来得ル丈ケ増加ト出来ル
様当地モ上陸ヲ計ルコトヲ除キ益ニ溯リテ税金ヲ軽減スルカ若シクハ
百斤ノ運賃ヲ差引キハ其直接鉄カ[illegible]ノ下ニ納付シ居ル
税金ヲ税関収入ノ一部トナスヘキモノ
以上

1-1809

0340

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

犬塚理事来電　十二月十四日

船舶用石炭壹ヶ月六千二百噸尚増加ノ見込

南滿洲鐵道株式會社東京支社

1-1809

0341

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

外務省條約局

法学，現代外交史，政治経済関係

日佛会館藏書目録　801-130

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

63

第17門

明治四十一年十二月十六日接受

主管 政務局

記錄 第一部

第一課

機密受第3084號

機密第二九號

明治四十一年十二月七日

在奉天

總領事代理領事岡部三郎

外務大臣伯爵小村壽太郎殿

撫順炭礦係爭地ニ關スル件

本件ニ關シ別紙ノ通リ伊集院公使ヘ稟申致候ニ付御參考迄冩差進候間御査閲相成度候敬具

在清國奉天日本總領事館

1-1809

0343

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

写

機密北第四〇號

明治四十一年十二月四日

在奉天
總領事代理領事岡部三郎

在北京
特命全權公使伊集院彦吉殿

撫順炭坑係争地ニ関スル件

貴電第八〇号御申越ニ係ル撫順炭坑附近図面並ニ新屯其他係争地ニ関スル書類満鉄會社ヨリ提出セシメ茲ニ封入差進候該係争地ニ関シテハ別紙交渉使来信写甲号ノ通リ既ニ清國政府ヨリ清國人民ニ採堀ノ許可セシモノナリト称シ又タ陶交渉使トノ談話ニテ本官ノ知リ得タル清國ノ主張ハ元ト翁寿ニ許可セシメタル礦区ハ新屯西方ニ流ルヽ溝ヲ以テ境界ト為シ以東ノ地ハ未ダ何人ニモ許可セザル所ニシテ此頃ニ至リ始メテ清國人民ヨリ採堀ヲ出願シ若クハ已ニ許可ヲ與ヘタルモノモ有之若ナリ然ルニ満鉄會社ガ王承尭及翁寿ノ権利ニ属シ露國ト多少ノ関係ヲ有シタル形蹟アル礦区ト同一視シ以上ノ礦区ヲ擅リニ自家ノ権利範囲ニ編入スルハ侵掠ニ外ナラズト云フニ在リ而シテ一方満鉄側ノ主張ヲ聞クニ翁寿ノ権利ニ属シタリシ老虎台坑ノ礦区ハ礦脈ノ連續スル限リヲ以テ境界ト為スモノニシテ新屯ノ如キハ往時露人ノ手ニ依リ試堀セラレタル痕跡アリト称ス

在清國奉天日本總領事館

64

1-1809

0344

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

スルモ礦區ノ無限説ハ確實ナル証據アルヲ聞カ
ス要之廣義ニ於ケル撫順炭礦ナルモノヲ概括
的ニ其權利ニ帰属セシメントスル希望ニ過キサルモノト
推測セラレ候満鉄ニ於テハ夙ニ此主義ヲ貫徹スル
伏線トシテ今春既ニ自カラ擅ニ境界標ヲ立テ新
毛龍鳳坎打鷲子等（一名打通嶺子）ヲ其礦區ニ包含セ
シメ自カラ其図面ヲ陶交渉使ニ示シ置ケル所交
渉使ハ去ル五月右ニ對シ別紙写乙号ノ通リ抗議
ヲ當館ニ差出シ當館ニテハ當時之ヲ満鉄ニ移牒
シタルコトハ今日ニ至リ候次第ニ有之候
本官想フニ本件ヲ詳細審査スル時ハ或ハ吾ニ不利
益ノ確証ヲ發見スルナキヤノ虞有之ノミナラス右ハ
撫順炭礦ノ首脳タル千金寨（王承堯）老虎台

在清國奉天日本總領事館

（翁壽）等ノ礦區ト素ヨリ関連セル問題ニシテ遽
カニ何等結論ヲ見ルコト難カルヘシト存候又満鉄
側ニ於テハ右係争地内ニ在ルニモ今日採掘ヲ開始
スルノ必要ヲ認メス寧ロ清國人ノ採掘ヲ牽制
シ他日獲得スヘキ權利トシテ留保スル目的ヲ以テ今
回俄カニ試掘ヲ始メタル次第ナレハ吾ニ於テハ本件係
争問題ハ之ヲ至急解決スルノ必要ヲ認メス以上
三礦區ハ依然係争地トシテ日清双方共ニ當分採
礦ニ従事セサルヲ以テ足レリト信シ候
抑モ撫順炭礦ニ関スル吾權利ニ對シテハ先年来
引續キ清國ニ於テ異議ヲ有シ居リ候次第ニテ早
晩両國間ニ協商ヲ見ルノ時可有之（陶大均
ハ日本カ露國ヨリ継承セリト主張スル根據薄弱

1-1809
0345
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ナルヲ以テ日本ガ之ヲ専有スルハ不可能ナリ寧ロ日清
合同事業トシテ更ニ協商スルノ外ナシト申シ居候
其際本件係争問題ヲモ併セテ解決スルハ最モ穏
當ナル方法ニシテ且ツ日清両國ニ取リテ何等不便
若クハ不利益無之儀ニ付本官ハ本件發生ノ當
初ヨリ既ニ右ノ趣旨ニ依リ徐總督及陶大均ト交
渉ヲ重ネ先ツ新屯ニ於テハ彼ヲシテ山主ノ義ヲ
認メシメ今ヤ進テ龍鳳坑并打鷹子ノ礦區ニ對
シテモ同様ノ交渉ヲ進行シ今朝徐總督ト會
見ノ際大体本官ノ提議ニ同意ノ傾向アルコトヲ
確メ候右稟報致候敬具

在清國奉天日本總領事館

1-1809

0346

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

甲写

欽命二品銜賞戴花翎奉天交涉使司交涉使陶　為

照會事奉

督撫憲據礦政調查局呈報興京廳屬煤礦三處一為

新屯係商人周從龍報領一為龍鳳坎係商人張慎修報

領一為搭連咀子係商人佟恩陞報領均先後請有部

照准其開採今年突有日人在該三處遍立歸橋大書

南滿洲鉄道株式會社撫順炭礦字樣並在新屯領工

開辦致各該商以領准開採之礦處被日人攪擾估

據損害實鉅呈請照會等情轉發到司查該三處

礦產業經華商報領開採日人不應前往阻撓自應

照請禁止以安商業相應照會

貴總領事請煩查照禁止並希速覆為盼須至照會

者　在清國奉天日本總領事館

右　照　會

大日本駐奉署理總領事官岡部

光緒三十四年十一月　初八　日

1-1809

0347

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

乙号写

欽命二品銜 賞戴花翎奉天交涉使司交涉使陶 為
照會事前准礦政局據 興京搭連嘴子煤礦商人佟恩陞
稟稱本年二月初間有日本繙譯官徐姓帶同日本兵隊二名小夫
數名在搭連嘴子附近之東洲河沿接連竪立號樁數十箇聲
稱係伊界址並到商人窑上云此處一帶均係千金寨礦界以後華
商毋庸起蓋房屋等語經該商稟由礦政局派員查明搭連嘴
子等處確有日人樹立標樁之事並查得搭連嘴子與龍鳳
坎等處均在楊柏堡河以東係隸 興京界內且名有商人領
照承辦各該處距楊柏堡河尚遠與職商王承堯領辦之千
金寨煤礦在撫順界內楊柏堡河以西者迥不相同何得朦混一
氣擅立標樁等情請為照禁前來本司查千金寨煤礦須
俟兩國政府會商妥協方有定議即如南滿沿鉄道一帶礦產
在清國奉天日本總領事館
亦須彼此商議以期公允今搭連嘴子等處煤礦均在 興京界
內與千金寨煤礦不相干涉又與鉄道距離甚遠貴國人竟到
該處私立標樁攪擾商民實為非理之舉動相應照會
貴總領事請煩查照並請禁止速覆為要須至照會者
右 照 會
大日本駐奉總領事官加藤
光緒三十四年 四月 十四 日

1-1809
0348
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

大鶯咀子ニ於ケル鑛区侵害事歴

大鶯咀子ハ老虎台ヲ東ニ去ル約二里餘、東沙河ノ沿岸ニアル戸数五十戸位ノ村落ナリ、此地ニ於テ石炭採掘ノ許可ヲ得タルハ奉天城内ノ住人孫占昌興京界房身ノ住人佟恩陞及孫松林ノ三人ニシテ大来公司ト称シテ共同出資ノ事業ナルモ官ニ対スル鑛主名ハ佟恩陞ナリ資本金二万両ニシテ光緒三十三年九月即チ昨年十月許可ヲ得テ石炭採掘ニ着手シタリ昨年十一月奉天ニ出張シ名刺ヲ以テ鑛政調査局ニ至リ局長祁廳ニ就テ聞ク所ニ依レバ右ハ交渉局等ヨリ照會アリタルヲ以テ許可シタルモノニシテ現在ノ撫順炭坑ヨリ二十清里モ隔絶シ居レバ差支ナシト認メタリト云ヘリ

昨年十二月十三日出奉ノ際阪口調査役随大均ニ面シテ撫順炭坑ノ鑛区図ヲ手交シ且ツ同氏ニ対シテ鑛区内ニ於テハ何人ニモ許可ヲ与フ可ラズ已ニ与ヘアレタル許可ハ取消サレタシ撫順炭坑ハ鑛区界ヲ明ニスル為メ標杭ヲ樹ツ可キ旨ヲ告知セリ

仍リテ本年二月標杭十数本ヲ樹テ同月十九日書記徐愛波ヲ大鶯咀子ニ派シテ採掘差止ヲ命セリ

本年八月廿九日大鶯咀子ニ至リ実況ヲ調査セルニ同村南方小丘ノ周囲ニ斜坑五ツアリ内四坑口ハ採掘シ得ヘシ目下ハ収支相償ハザルヲ以テ休業シ居ルヲ以テ坑内ニ侵入スルヲ得ス、昨年中採掘高五十万斤本年ハ二十四万斤ヲ出炭セリ炭質不良炭層稍薄ナリ今日迄ノ損失高十万吊文(約一万

南満洲鐵道株式會社

1-1809

0349

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

七千元迄ニ達シ此上大ニ継續従業セシニハ大資本ヲ要スルヲ以テ
鑛主ハ金策ノ為メ鉄嶺奉天方面ヘ出張中ナリトノ事ナリ
大窩咀子採炭ノ結果右如ク損失ニ帰シタルヲ以テ同時頃許
可ヲ得タリトノ風評アリタル新民龍補坎ノ二ケ処ニ着手
スル能ハザルモノノ如シ

南滿洲鐵道株式會社

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

老虎台以東新屯村試掘記事

裕和盛郭主閻從龍ガ東平公司ノ名ヲ以テ老虎台以東ニ於テ石炭採掘許可ヲ得不取敢試掘ヲ施シ度旨同人ヨリ聞キ取リタルヲ以テ其當日即チ十月廿二日本社ヘ之レヲ報告シ猶ホ仝月廿一日附ヲ以テ副總裁宛私翰ヲ以テ老虎臺以東ニ於テ東平公司ガ試掘ニ着手セザル前ニ我ガ炭坑ヨリ人ヲ派シ試掘ヲ行ヒテ機先ヲ制シタルト上申セシニ十月二日附ニテ試掘ノ件承知實行アリタシト電信ヲ以テ認可ヲ得タリ依テ十一月四日老虎台坑ヨリ坑員ヲ派出シ急々實行ニ着手スルコトシテ其後ノ状況ハ左ノ如シ

四十一年十一月四日新屯ノ南方山地ニ斜坑一ケ所開掘ヲ始メルニ付キ老虎臺ヨリ支柱夫山中孫三今島貫春吉今于海去ヲ派遣ス村長会首等新坑開掘ヲ悦ビ一行ニ對シテ好意ヲ表シ宿舎ノ搜索等ニツキ大ニ尽力スル所アリ、

新屯村長ハ張子信會首ハ閻現田張鑿仁ナリ

村長ノ説話ニ依ルニ新屯ノ山地ハ村ノ草木伐採地ニシテ村民ヨリ年銀ヲ上納セル由ニテ若シ新坑開掘ノ為メ廣地ヲ使用スル場合ニハ相當賠償金ヲ得タシト云ヘリ、差當リ使用ス可キ土地ハ極メテ狹少ニシテ村民ノ迷惑ヲ醸スガ如キコトナキヲ説キ聞カシ土地使用ヲ快諾セシメタリ將来土地ヲ廣ク使用スル場合ニハタトヒ山地ト雖モ賠償金ヲ与フルヲ要ス

十一月八日島貫春吉及于海去ヲ帰坑セシメ坑夫藤吉幾

南滿洲鐵道株式會社

1-1809

0351

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

太郎支柱夫于萬柏ヲ老虎台ヨリ派遣ス、
十二月十日日本人一名苦力若干ト来坑シ我ガ開坑ヲ詰問シ
要領ヲ得ズシテ西方ニ去レリ
出張員ノ宿舎料苦力賃村長ニ依リ左ノ通リ定ム、
宿舎料　一ヶ月　金九圓
苦力賃　金参拾五錢
十二月十三日東平公司ヨリ派遣シタル左記六名者来坑我
ガ採掘区域ヲ知リタルトテ当面閲覧ヲ乞ヘリ出張員ハ事
務所ニ就キ問合ス可キ旨差置キシモ遂ニ来坑セズ
東平公司執事　司佳懐（廣東人）
仝　于学植（山東登州黄縣人）
把頭　弐名　趙化（文子）
通譯　弐名　日本人一 廣東人一　営口ヨリ来ル
十二月十五日村長及會首二名来所談話ノ要点左ノ如シ
前記六名ノ者ノ来社シ東平公司ノ開坑スルコトハ村長等ニ於テ
以前ヨリ承知シ居ナガラ日本人ノ開掘ヲ許シタルハ不都合ナリ
恐ラク収賄ノ結果ナラン鑛政局ニ出訴スヘシト揚言シ猶
ホ村長等ニ於テ日本人ノ開掘ヲ差止メ東平公司ヲシテ採
掘ニ従事セシムルヲ可トスト謂ヒ意見書ヲ鑛政局ニ差出シ呉
レマジキヤト頼ヘリ村長等ハ自分等ニ於テ許否ヲ与ウル権
能ナキ旨ヲ主張シ強テ東平公司ノ開掘ヲ拒マザルモ東平
公司ノ所持スル許可證ハ奉天府興京府ヨリ發行セルモノニシ

1-1809

アジア歴史資料センター Japan Center for Asian Historical Records http://www.jacar.go.jp/

ヲ當地新屯ハ奉天府撫順縣ノ管轄ニ屬セル爲メ該許可證
ハ有効ナラスヲ得ス固ヨリ鑛政總局ノ許可證ヲ持參スヘキ
旨ヲ主張セリ序ニ東平公司ノ所持セル許可証ニハ本年
請願七月一日ヨリ開堀ヲ許可スル旨記入セリ
東平公司ノ派遣員一行ハ十四日奉天ニ赴ケリ村長等ハ該
公司カ事實ナキ收賄ノ希ニ依テ自分等ヲ出訴スヘカラス
ト憂慮セリ若シ嫌疑ヲ受ケタル場合ニハ炭坑ヨリ相當辨
明ヲ與ヘラレ度旨懇願セリ
開坑等件ハ其筋ヘ報告ヲ要スル趣ニテ今回新屯ニ於ケル炭
坑ノ開堀ヲ報告シタレト謂ヘリ別段異議ナキ旨答ヘ置ケリ
村長等ノ意向ハ炭坑ノ開堀ニ好意ヲ表シ東平公司ノ開坑ニ好

南満洲鐵道株式會社

意ヲ表シ居ラサルモノヽ如シ一行ノ者カ村長等ニ希望セシ意
見書呈出ノ件ニ對シ村長等ハ之ニ從フノ意思ナキ事ヲ明言
セリ

打鷹子私掘ニ関スル記事

撫順炭田ノ東端打鷹子ノ山地ニ従来試掘セルモノ五坑アリ
本年夏季ハ其採掘ヲ禁セシモ冬季ニ入リ一ヶ町採掘ヲ始
メタルヲ耳ニシ更ニ十月ニ入リ新坑開掘ノ説アリシニ依リ十月
十二日當守備隊ノ同地巡見ト共ニ小沼技手ヲ派遣シ實地ヲ取調
タルニ四ヶ所ニ新坑ヲ穿チ（二週前ヨリ着手セリト云フ）猶ホ旧
坑ヲ合セ六ヶ所ニ採掘シ各一坑ニ苦力四五人ヲ使役シ一日出
炭二三千斤ニ達セリト云フ、
識試掘者ハ大来公司ト称シ當日主人不在ニテ書記孫世
昌ニ試掘ヲ中止ス可キ旨諭シタルモ自分ニテ取計ヒ兼
ヌル旨ヲ答ヘ猶ホ之レヲ休止セラルヽ場合ニハ鑛政總局ヨリ
相當ノ命令ヲ受ケ度シト謂ヘリ夫ハ試掘ノ権利ヲ得
ル為メ及ヒ試掘後費シタル費用ノ辨償ヲ得ンガ為メナリ

南満洲鐵道株式會社

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

明治四十一年十月二十二日

撫順炭坑長 松田武一郎

副総裁中村是公殿

撫順附近坑區ノ件

今朝清商周從龍来訪同人ハ長崎上海芝罘営口鐵嶺
及奉天ノ各地ニ在ル裕和盛號ノ主人ニシテ韓國ニ在リテハ京城
仁川釜山木浦ニ義生盛號ノ名ニテ営業致ス由仝人ハ昨
年以来老虎台ノ東方ニ坑區ヲ出願シ今年許可ヲ得タリ
未ダ着手セザルモ早晩開坑シ度為事撫順炭坑ノ同意
ヲ得ヲ取計ヒ度差当リ試錐ヲ施シ度右炭坑ニテ施
行致呉間敷ヤト相談有之ル就テハ坑區ノ面積等質問仕リ
左ノ事實ヲ確メタリ

一、坑區ノ廣サハ龍補抉ノ西ニテ東西ハ清里南北二清里ナレ
比東ノ方ニ他ノ出願者アリシ為メ之レヲ除キ實際ハ清里
ヨリ少ナク東平公司ノ標杭ヲ建テル區域内ナリ但シ東平
公司トミフモ東洋ノ東ト実母(日本人)ノ姓ナル平ヲ取リ
タルモノニテ周一已人ノ許可ヲ得タルモノナリト云フ

一、奉天官憲ニテハ老虎台以東ハ撫順炭坑ニ属セズ興京
縣ト撫順縣ノ境界線ニテ区分シ興京縣ニ属スルモノハ
支那ニテ勝手ニ處分シ得ルモノトナシ同人之レヲ出願ノ上

南満洲鐵道株式會社

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

許可ヲ得タリト云フ、
同人ハ唐紹儀梁参賛ト懇意ナル由度々己人トシテ許可
ヲ得タリト操返ス処ヨリ邪推スレバ或ハ奉天ノ役員ト内實
協同シ同人ガ名儀人ニアラズヤトモ被存候試掘ヲ施シ石炭
ヲ見タレトモ不日米國ヘ行クト云ヒ鉄道ノ延長ヲ希望スルト云
ヒ萬事當坑ト相談シテ操業シタレト云ヒ訪問ノ目的ハ當方
ノ意向ヲ探ルニアリト認メラレ左ノ如ク答置候
一、當坑ノ境界侵故若シ仕事ヲナス時ハ差止ム可キヲ以テ
試錐モ試掘モ行ハザル方同人ノ為メ得策ナリ萬一着
手スル氏ハ非常ノ面倒ヲ釀ス可シ坑区界ノ議論ハ
日清政府ニテ爭フ可キヿニテ當方ハ亦貴君ト
論辯スルノ必要ナク當方ハ貴君ガ炭坑ニ来リ話サレタル
事ヲ本社ヘ報告ス可ク其試錐ヲ施シ又ハ掘坑スル
ガ如キハ決シテ同意スルヿ不能ト答ヘ満鉄ハ都督府ニテ
管轄スルカト質問シ然リト答ヘタルニ大島都督ニ面會シテ
相談スル事アラント申居リ雑談ノ後引取リ申候
打鷹子ニ於ケル採掘許可ト云ヒ今又東平公司ノ許可ト云ヒ
支那政府ニテハ皆自國ノ採掘権アル区域トシテ所分致シ事
ト被存甚遺憾ニ存候
元来當撫順炭坑ノ区域ニ付テハ不明瞭ナル点アリテ日清
両政府ニ於テ速ニ妥協確定ノ必要アルハ昨年以来屢申
上ケ処ニ有之候遷延スルニ従ヒ漸次問題ハ複雑トナリ之ガ

南満洲鐵道株式會社

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

解決ニ困難ヲ生ス可ク或ハ唐国等米国ニ於テ資本家ト結合セザルトモ限ラレズ甚心配仕候就テハ当坑地境界問題ニ付特ニ御留意相成可然御取計相成度此段得貴意候

南満洲鐵道株式會社

1-1809

0357

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

新屯炭坑用地ニ関シ松田坑長對
撫順縣知縣朱孝威氏交渉顛末筆記

明治四十一年十一月二十四日午后二時撫順縣知縣朱孝威氏當坑事務所ニ来リ新屯ニ於ケル採炭用地ニ関シテ松田坑長ト左ノ通リ會談シ仝日午后四時退出セラレタリ

知縣 過日ハ吾國皇室ノ不幸ニ関シテ早速人ヲ派シテ弔詞ヲ述ヘラレ厚誼多謝ス

本日當所ニ来リシハ一ハ右答礼ノ為メ一ハ先月告来方新屯ニ於ケル貴坑ノ採炭用地ニ関シテ協議セシガ為メナリ

坑長 表示ニ対シテ答礼セ辱フス厚誼多謝ス

知縣 小官ハ撫順縣ノ知縣ナリ即チ地方官ナリ故ニ管轄区域内ノ出来事ニシテ事外國人ニ関スル事ハ之ヲ交渉司又ハ總督府ノ手ヲ経スシテ直接ニ商議シ穏便ニ處理セシコトヲ希望ス

坑長 余モ又最モ之レヲ希望スルモノナリ

知縣 小官本月新屯地ニ至リ該地ノ土工ニ従事セル貴國人ニ就キ親シク該工事ノ目的及許可ノ有無等ヲ尋子シニ先師[?]墓炭坑ニ至リ尋問セヨト答ヘ得タリ依リテ之ヲ仝坑ニ至リ尋子シニ之レハ撫順炭坑々長ノ命令ニ依ルモノニシテ其詳細ハ全然當坑事務所ニ就キ協議セラレタシトノ事ニテ参上セリ

南滿洲鐵道株式會社

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

坑長　貴説ノ新邱ニ於ケル土工ハ當坑ノ事業ニ相違ナシ

知縣　小官ハ地方官ナルヲ以テ當縣管内ノ國土ヲ守護スル
ノ責アリ故ニ縣内ノ土地ニ関スル重大ナル問題ノ發生ニ関
シテハ必ラズ總督又ハ交渉局ヨリ何分ノ通牒ヲ受クベ
キモノナリ然ルニ貴坑ガ新邱ノ地ニ開坑セントスルコトニ
関シテ總督又ハ交渉司ヨリ何等ノ通牒ニ接セズ
而モ貴會社ヨリモ何等ノ照会ナシ果シテ該新邱ニ
在テ新タニ開坑スルニツキ貴国政府ノ特許ヲ得タル
モノナレバ右許證ヲ拝見致シタシ

坑長　國際條約（ポーツマウス平和條約、日清善後條
約）ノ約定ハ之ニ基キ我国權ノ作用ニ拠リ會社ノ
所有ニ帰シタル所謂撫順炭坑ノ坑區内ニ新邱附近ノ
礦脈ハ包含セラレタルモノナリ故ニ之レヲ開坑スルニ際シ
テ更ニ貴国政府ノ許可ヲ得タルコトナシ又之レヲ得ルノ
必要ナキモノナリ從ツテ之ニ関連セル國際條約ノ條章
以外ニ右特許證ナルモノヲ貴覧ニ供スルコト能ハサル
ハ甚ダ遺憾トスル所ナリ

知縣　果シテ貴説ノ如ク貴國々權ノ作用ニ拠リ換言セ
ハ貴國政府ノ命令ニヨリ貴會社ガ老虎台以東ノ
地マデ採炭ノ為メ開坑スルモノトセバ之ヲ貴國ノ交
渉司マデ通牒セサルノ筈ナシ然ルニ我ガ當局者
之ヲ知ラス是或ハ貴會社一個ノ考案ニ出タルモノ

南滿洲鐵道株式會社

1-1809

0359

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニアラサルナキカ現ニ炭坑ノ土地買収及ヒ採石ニ関シテモ小官ハ常ニ奉国交渉司ヨリ何分ノ通知ニ接セリ然ルニ本件ニ関シテノミ之ナキハ其ノ内容ニ異シテ甚タ疑ヒナキ能ハザルナリ

坑長　貴交渉司ハ之ヲ知悉セザル丁萬ナカルヘシ現ニ明治四十年二月當坑ハ実施ニ就キテ測量シ木標ヲ樹立シテ以テ坑界ヲ定メタリ該区域ノ東方ハ大鷹嘴子等ノ地ニ及ヘリ右実測図面ハ去ル之ヲ貴国交渉司ニ送付シ該坑界ヲ知ラシメタリ右ノ通牒ニ對シテ当坑ハ今日マテ貴国交渉司ヨリ何等ノ抗議ニ接セズ故ニ貴國交渉司ハ既ニ之ヲ黙認セシモノト見做ス可キナリ

知縣　右ノ測図ハ奉國委員立會セス之炭坑ノ任意測定セシモノナリ又炭説ノ坑界トハ礦脈ヲ意味スルモノナルカ果シテ礦脈ヲ意味スルモノトセハ先ノ所位ヨリ地下ノ礦脈ニ沿フテ新ニ地下ノ礦脈ニ堀進ス可キモノナリ然ルニ右採炭ノ為メ新タニ新ニノ地上面ヲ佔用スルハ非ナリ

坑長　ポーツマウス平和條約及日清善後條約ノ約定及之ニ基ヅキ我政府ヨリ附與セラレタル我鐵道會社ノ權能ニヨリ又貴國政府カ我鐵道會社ノ為ノ許サレタル事多ノ前例ニヨリ會社カ営業ノ

南満洲鐵道株式會社

1-1809
0360
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

為メ官有地ハ無償ニテ民有地ハ時價ヲ以テ收用
スルコトヲ得ルモノナリ現ニ新邱ニ於ケル當坑用地ノ如キ
公有地ニ屬スルヲ以テ之ヲ借用スルニツキ該村長ニ
諮シ置ケリ妄リニ之ヲ佔用セリトノ非難ヲ廣クル
ハ甚タ迷惑ニシテ余ノ忍ヒサル所ナリ

知縣　老虎臺ノ炭坑ハ貴國カ兵力ヲ以テ得タルモノナリ
現ニ本件ハ從總督ト貴國政府トノ懸案ニナリ居
ルニ非スヤ何ヲ以テ之ヲ貴會社ノ正當ナル所有物
ナリト云フヤ

坑長　貴說ノ如ク我國ハ戰時中兵力ヲ以テ露國ヨリ
之ヲ得タリ決シテ貴國ヨリ之ヲ獲得シタルモノニア
ラズ其後幾多ノ國際條約ノ約定ト我カ國權ノ
作用ニヨリ我カ會社ノ所屬ト歸シタルモノナリ、
貴意ノ如ク交涉ヨリ爭ヲ強スレテ小職ト貴官ト就
シク直接ニ協議シ之ヲ處理セントスルニハ本件ハ其
性質重大ニ失ス換言スレハ極メテ大ナル國ト國トノ
問題ナリ余ハ當坑ノ坑長ナリト雖モ國際問題ニマデ
容喙スルノ權能ハ之ヲ有セス故ニ本件ヲ茲ニ商議
スルハ無益ノ事ナリ貴說ニ對シ以上余ノ陳述セル
所ノモノハ余ノ一個ノ私見ナリ加之余ハ坑長トシテ本社
總裁ノ指揮ノ下ニ行動セルモノナリ故ニ當坑ノ事業
經營ニ關シテ異議アラハ外交上ノ手續ヲ踏ミシタ

1-1809
0361
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

シ正式ノ手續ニ依レル合理ノ照會ニ對シテハ余ハ之ヲ無視スルヿ能ハサルナリ

知縣　再言ス余ハ地方官ナリ地方官ハ守土ノ責ヲ有ス故ニ國土ニ關スル不法ノ行為ヲ視ル可キモノナキ放任シ之ヲ顧ミサルハ余ノ職責上忍ヒ能ハザル所ナリ故ニ余ハ貴職ニ對シテ暫ク其託ケル土工ヲ停止セシヿヲ求ム

坑長　前述ノ如クテハ本社ヨリノ通牒又ハ我國領事館ヨリノ照會ニ接セサレハ妄ニ工事ヲ中止スルヿ能ハス

知縣　然ラハ何故ニ我國交渉司ト交渉ヲ経タル貴國領事館ヨリノ照會ナクシテ該工事ニ着手セシメタルカ

坑長　前述ノ理由ニ據レリ所謂政府命令換言スレハ本社總裁ノ命令ニ據リテ工事ニ着手シタルモノナレハ之ヲ停止スルモ亦本社ノ命令ニ據ラサル可ラス

知縣　然ラハ五日間該工事ヲ中止セシメヨ

坑長　能ハス然ルニ正式ノ照會ヲ經テ着手スヘキモノニ對シテハ之ニ從ハサルヲ得サルヲ以テ正式ノ手續ヲ踏マレタシ

知縣　五日間ノ工事中止ヲモ承諾スル能ハストハ貴觀甚タ礼ナキニ似タリ既ニ礼ナシ紛紛ヲ醸生スルハ免レ能ハサル所ナリ余ハ我國交渉司ト会議シ試掘ノ權能範圍内ニ於テ黄坑ノ使役モ若カ退去ヲ命シ以テ黄坑ヲシテ我國人ヲ使用スルヿ能ハサ

ラシムルノ策ヲ採ル可シ

坑長　之ニ反シ国際條約ノ何タルヲ解セサルノ暴言ナリ抑モ炭坑ノ経営ニ基ツク巨萬ノ投資ヨリ最モ大ナル利益ヲ受クルモノハ貴国人ナリ故ニ斯カル一小事ノ為ニ五日間停止云々ノ為ス斯カル暴挙ニ出ツルハ貴官ノ為メ又貴国人ノ為メ大ナル不利益ナル結果ヲ来スモノナラムト思考セラル余ハ再言ス余ハ従フ可キ正理ニ従ヒ従フ可キ命令ニ従フ可キモノナリ故ニ余ハ貴官ノ為メニ計ルニ斯ノ暴挙ニ出テス正式ノ外交手續ニヨリ本件ニ対シテ交渉ヲ開始スルハ策ノ得タルモノナルト信ス特ニ新屯ニ於ケル当坑ノ工事ニ従事スル貴国人等ニ対シテ干渉セサルコトヲ希望ス

知縣　諒承セリ明日余ハ奉天ニ至リ右問題ヲ当局者ト協議セント欲ス

坑長　就テハ来ル迄ニ何等貴国ニ対シ満足ナル解答ヲ與フル事能ハサリシハ余ノ甚タ遺憾トスル所ナリ

南満洲鐵道株式會社

1-1809
0363
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

十一月三十日午後四時守備隊ヨリ左ノ報告ニ接ス

新屯方面ヲ巡回シテ帰営セシ兵士ノ報告ニヨレバ本日午前九時清国巡警二名来リ撫順炭坑ヨリ出張シテ試掘ヲ為セル日本人ニ向ヒ今日限リ事業ヲ中止セヨ且ツ使役セル同村ノ苦力三名ハ勿論他ノ支那人ヲ使役スル事モ今日限リ中止セヨト命シ引取リタル由

右ニ付テハ去ル十一月廿四日[illegible]来坑後奉天ニ赴テ陶交渉局[illegible]日本領事ニ申込ム[illegible]ノ交渉[illegible]領事ト協定談判中ナルヲ以テ直ニ電話ヲ満鉄公所ヲ経テ左ノ意味ニテ岡部領事ヘ依頼スル所アリ、

新屯問題ニ就テハ陶太均ト貴官ト交渉中ナルニ拘ラズ

南満洲鐵道株式會社

支那側ニテハ巡警ヲ派シ我ガ炭坑派遣員ニ工事及支那苦力ノ中止ヲ命ズルハ穏カナラズ明日ハ守備兵ヲ派遣ナシヒ我坑員ヲ保護セシムベク若シ支那巡警来リ場合ニ依リテハ叩キ合ヒヲナスヤモ知レズ斯ル事件ヲ生ジテハ面白カラザル故今晩陶大均ニ向ヒ交渉局ト領事館トノ協定ナクルマデ我事業ヲ止ムル如キヿヲ為サシル様巡警ヘ電命アリ度旨ヲ申込ミ度云々

右ニ対シ領事ハ直ケニ交渉局ニ談判セシ二時間以内ニ回答セラルベキ旨電話アリ夜十時領事ヨリ電話アリ交渉局ハ巡警ニ電命スル可ク撫順ノ大問題ヲ解決スルマテハ新屯モ大官屯子ノ工事モ互ニ中止スルヿニ協定纏ルノ見込アルヲ以テ炭坑ニ於テモ穏ナル

1-1809

0364

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

處置ヲ取レトノ語ニツキ然ラバ明日ヨリ新邱ノ仕事ヲ止メ單ニ人ヲ派出シ置クコトニ可致ト明日ハ兎モ角守備兵ノ派出ヲ乞ヒ我派出員ヲ保護セシムル旨答ヘタリ、

十二月一日新邱派遣ノ守備兵及當日老虎山ヨリ出張セシメタル社員ノ報告ニ拠レバ支那巡警来ラズ平穏無事ナリト爾後引續キ坑員二名滞留セシメ畢竟警戒ヲナサシメ居レリ、

十二月四日、午後六時半関部領事ヨリ左ノ電報来ル

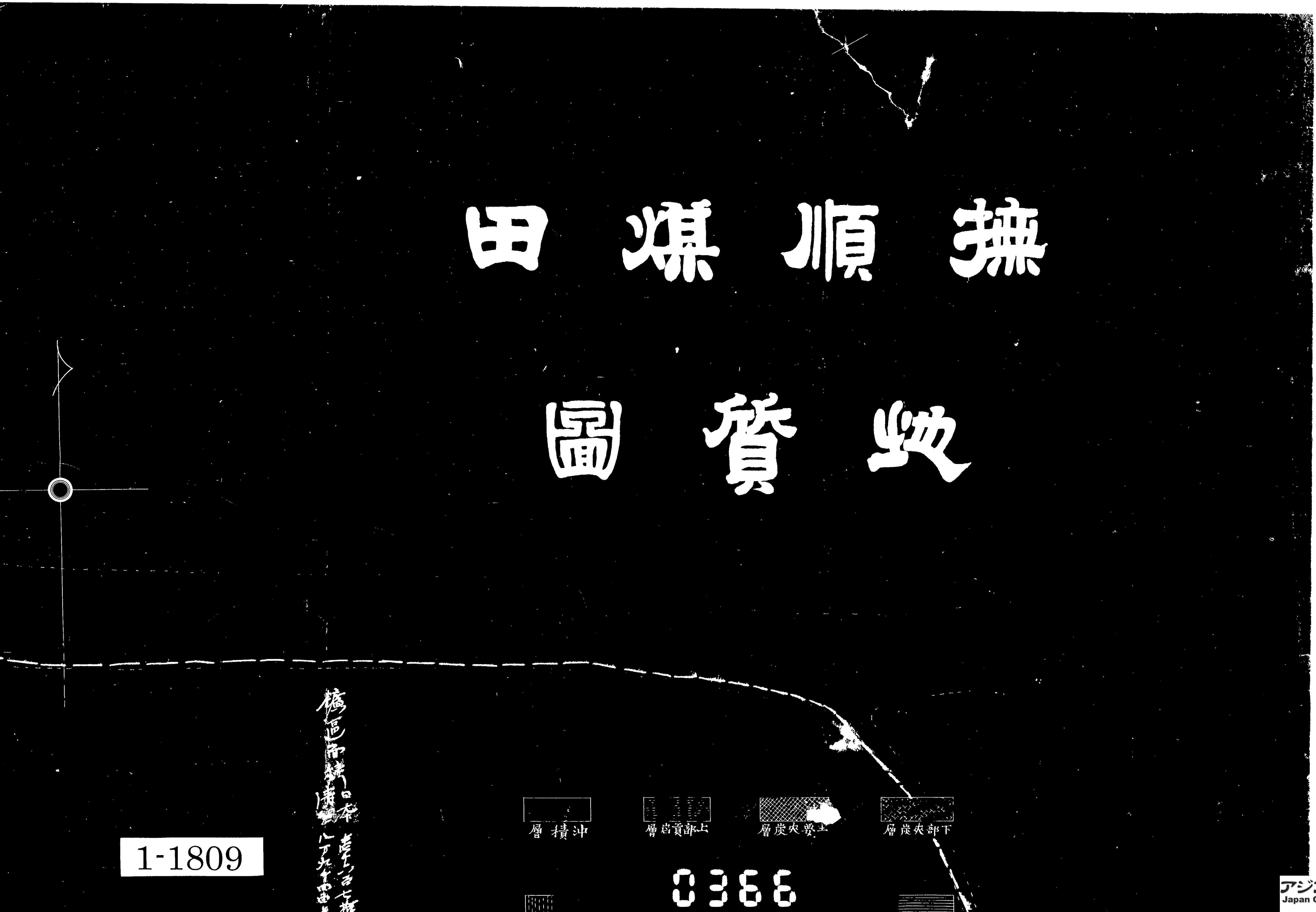
新邱事件ニ関シ當方本官接手ノ同様ノ地圖及関係書類写シ伊集院公使ノ手許ニ送ル為メ至急當館マデ御送付アリ度シ右ハ公使ノ命ニ依ル尚其後ノ情報兼知致度本官ハ既ニ大臣ヨリモ訓令ヲ受ケ右競争地ニ於テハ双方トモニ工事ヲ中止スルコトニ交渉中ナリ

右ニ対シ直ニ左ノ返電ヲ發ス

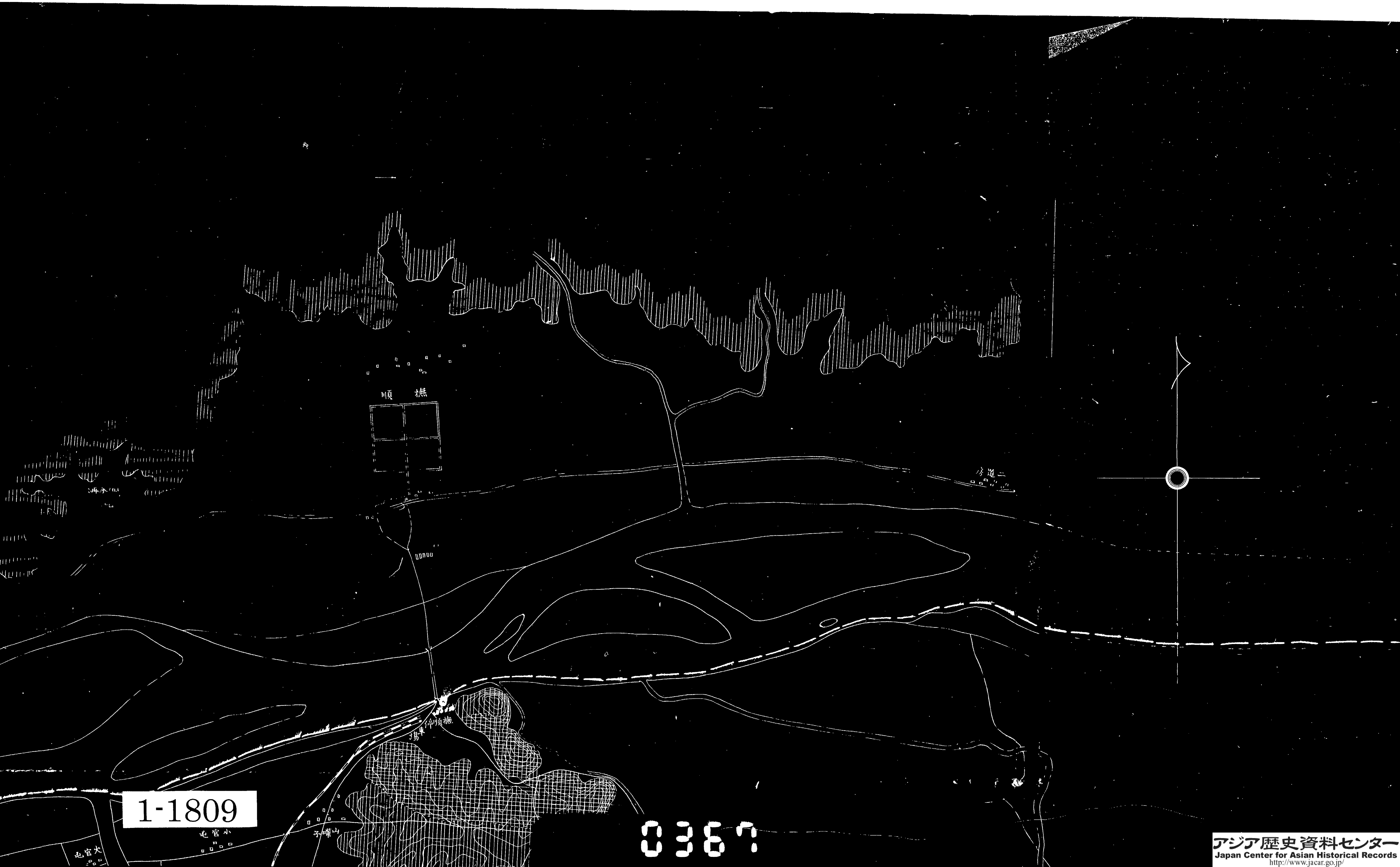
御下命ノ書類ト圖面明日御送付スル新邱ハ仕事ヲ中止シ人ハ滞留セリ一日ハ巡警来ラズ其後変リナシ委細明日報告スル、

南満洲鐵道株式會社

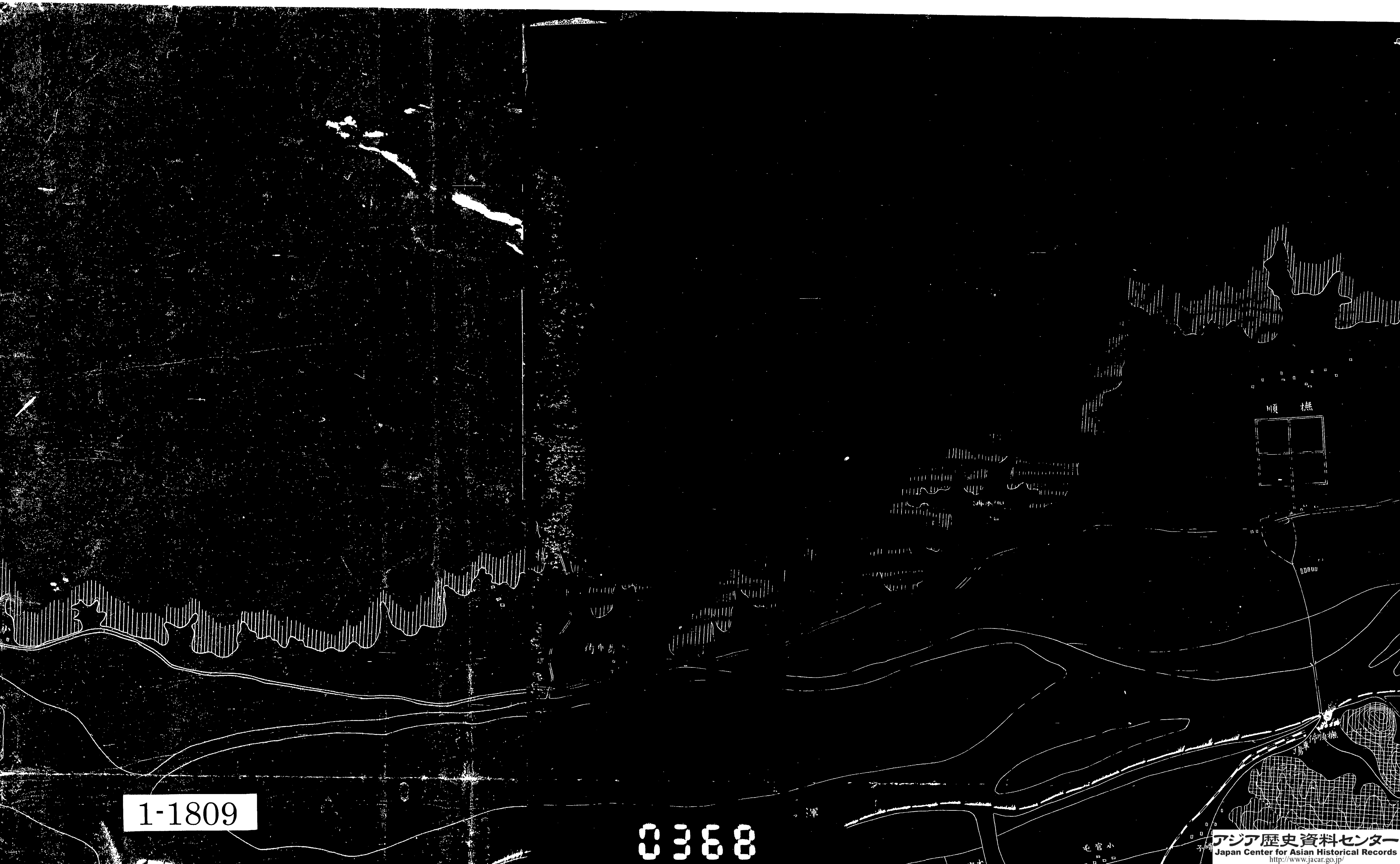
1-1809
0365
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



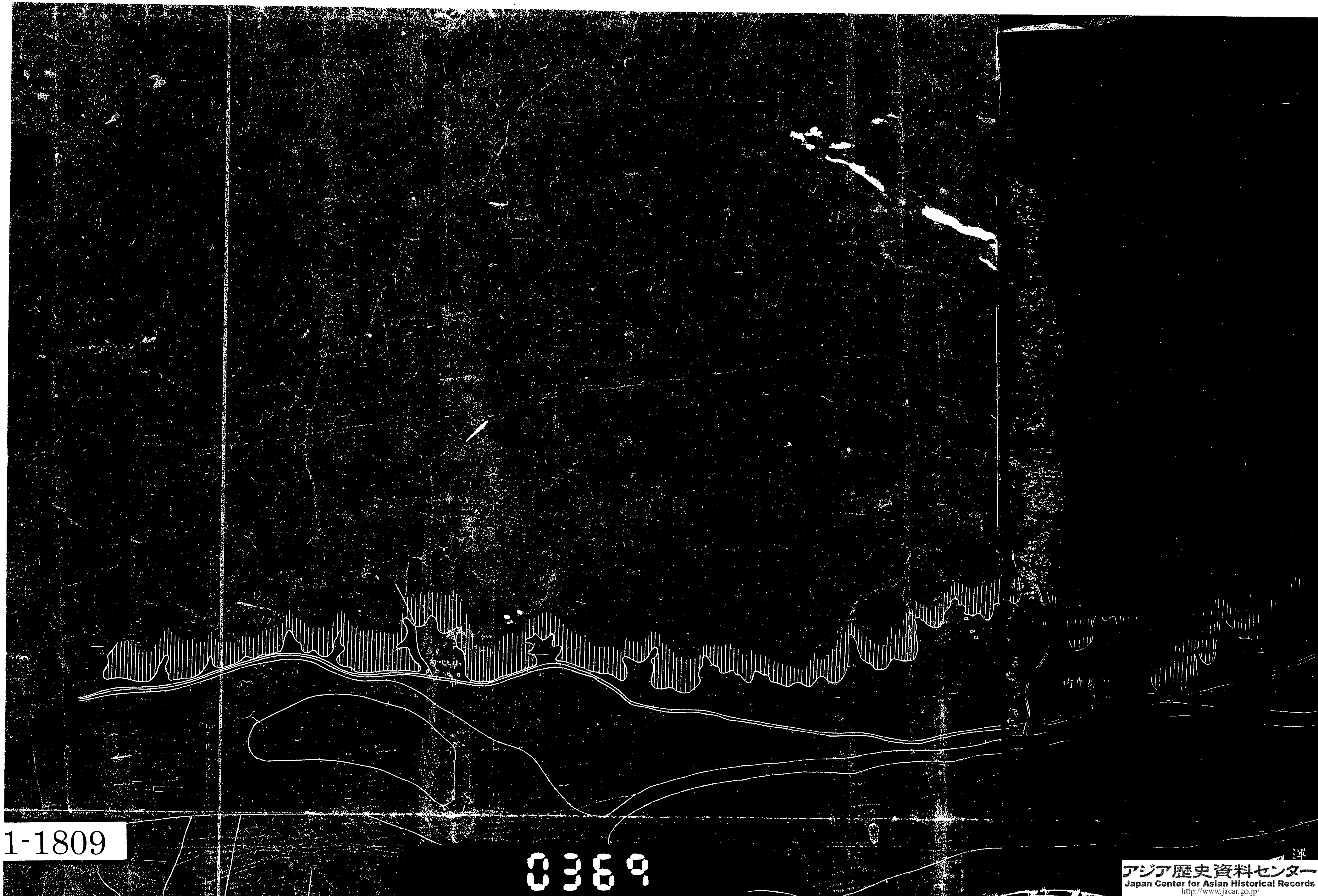
1-1809
0367
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



1-1809

0368

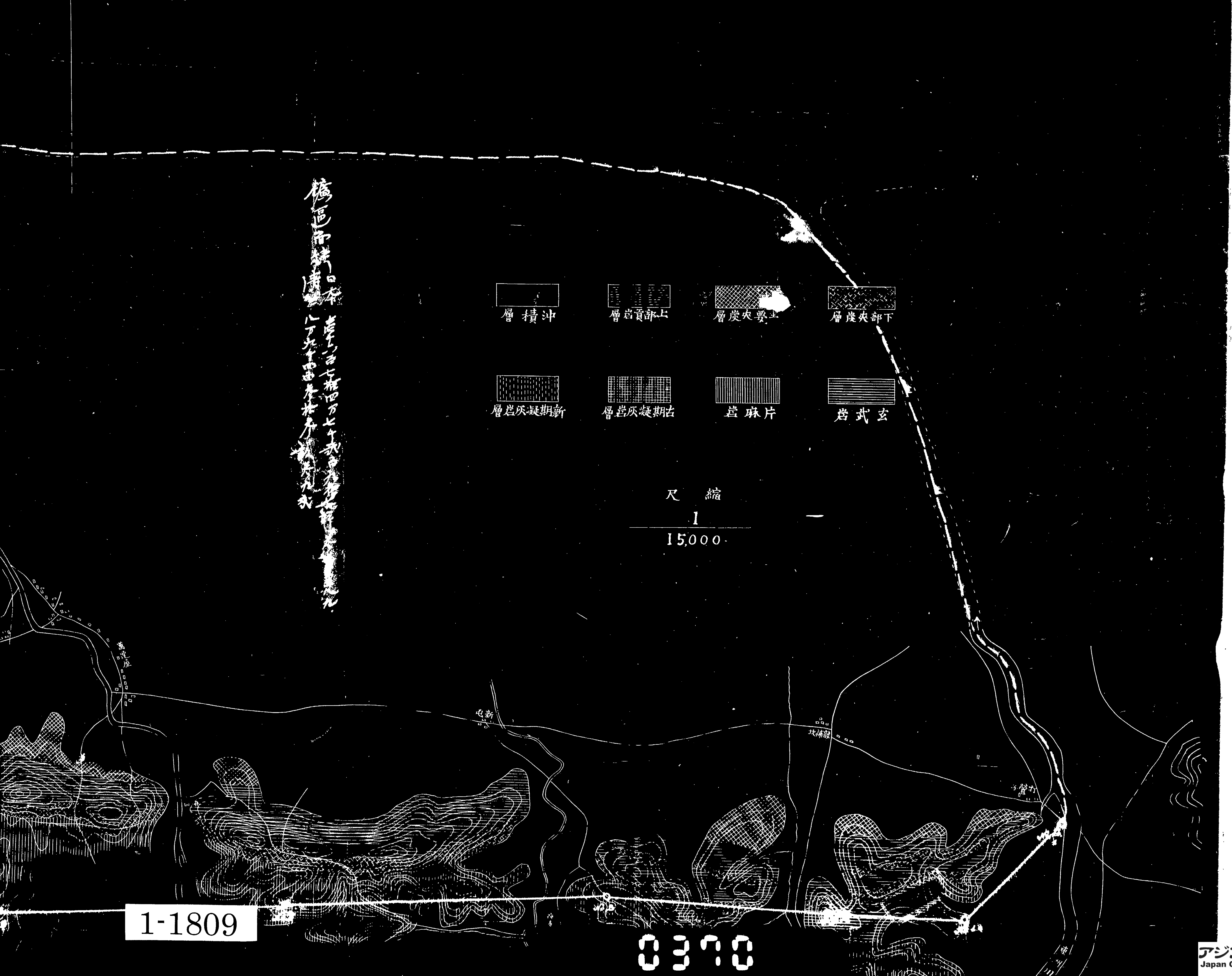
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



1-1809

0369

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



1-1809

0370

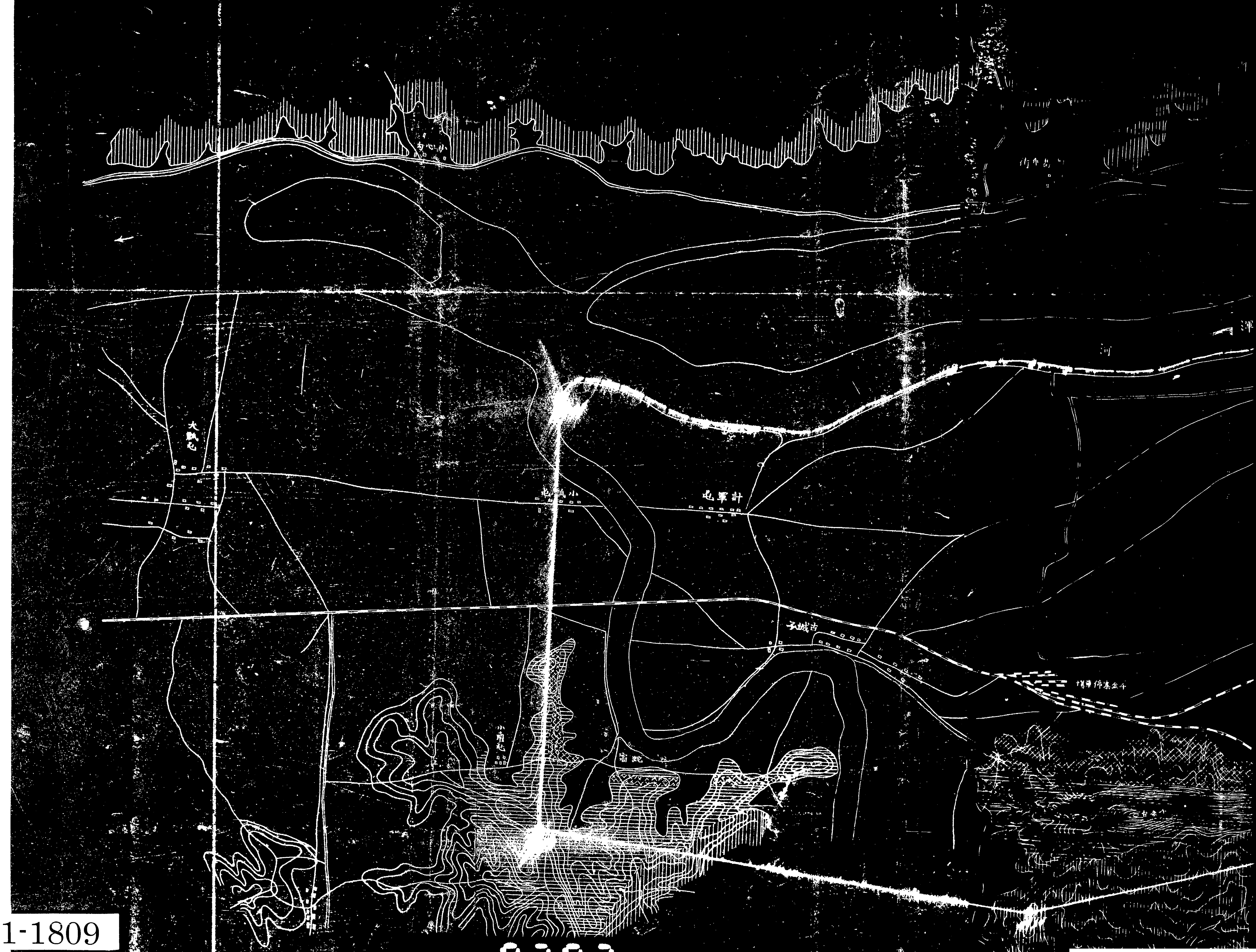
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

1-1809
0371
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

1-1809

0372

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



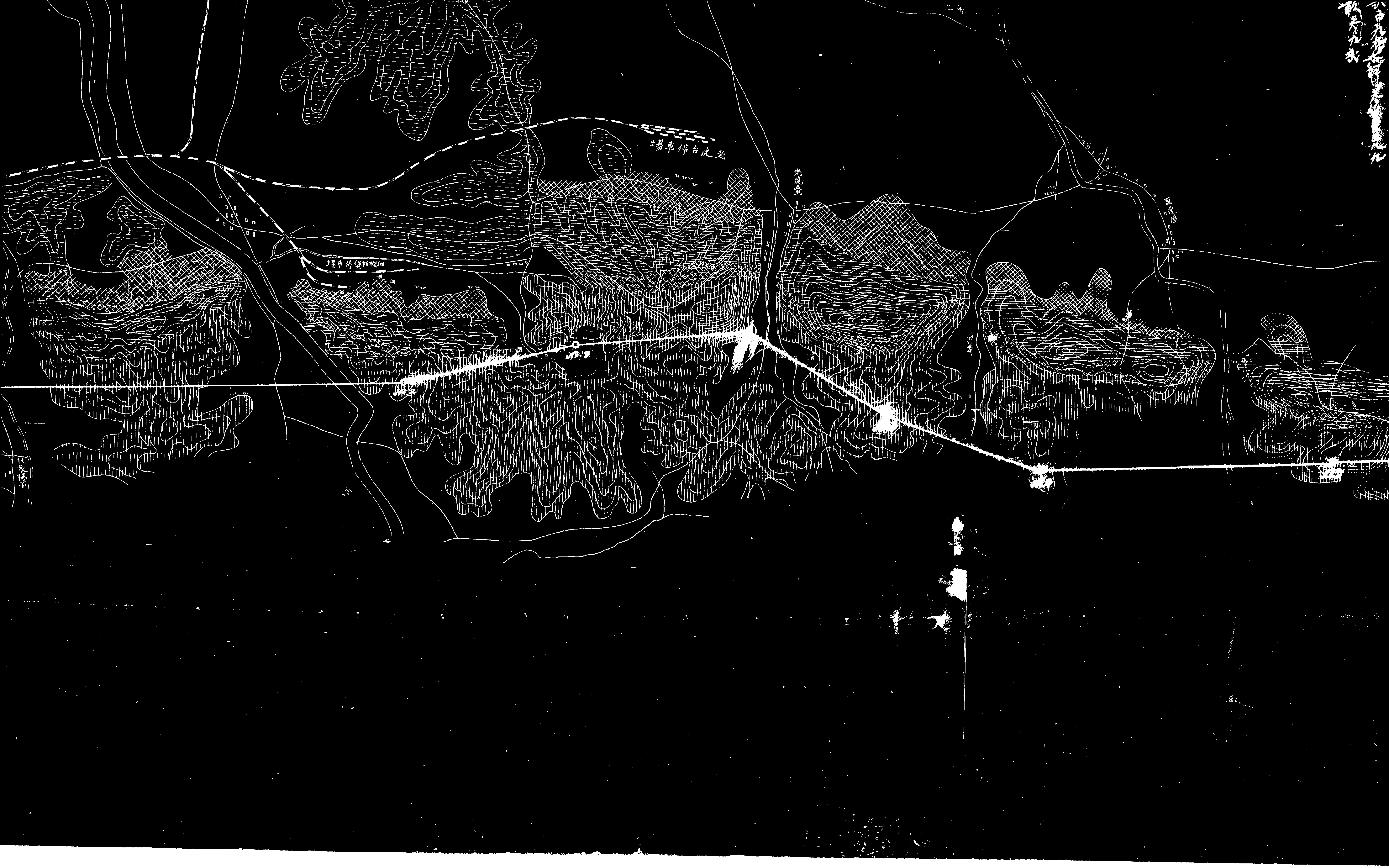
1-1809

0373
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

1-1809

0374

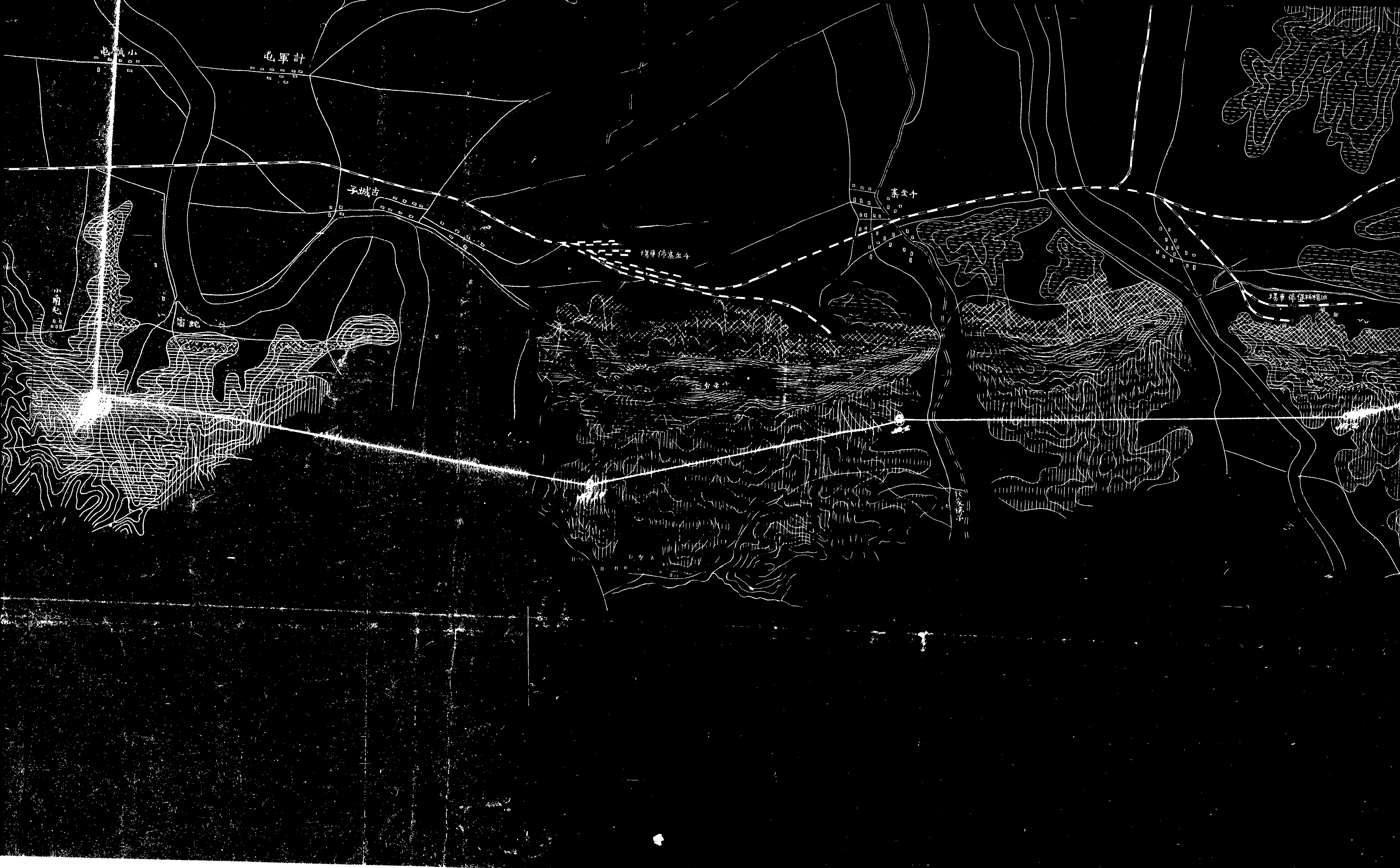
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



1-1809

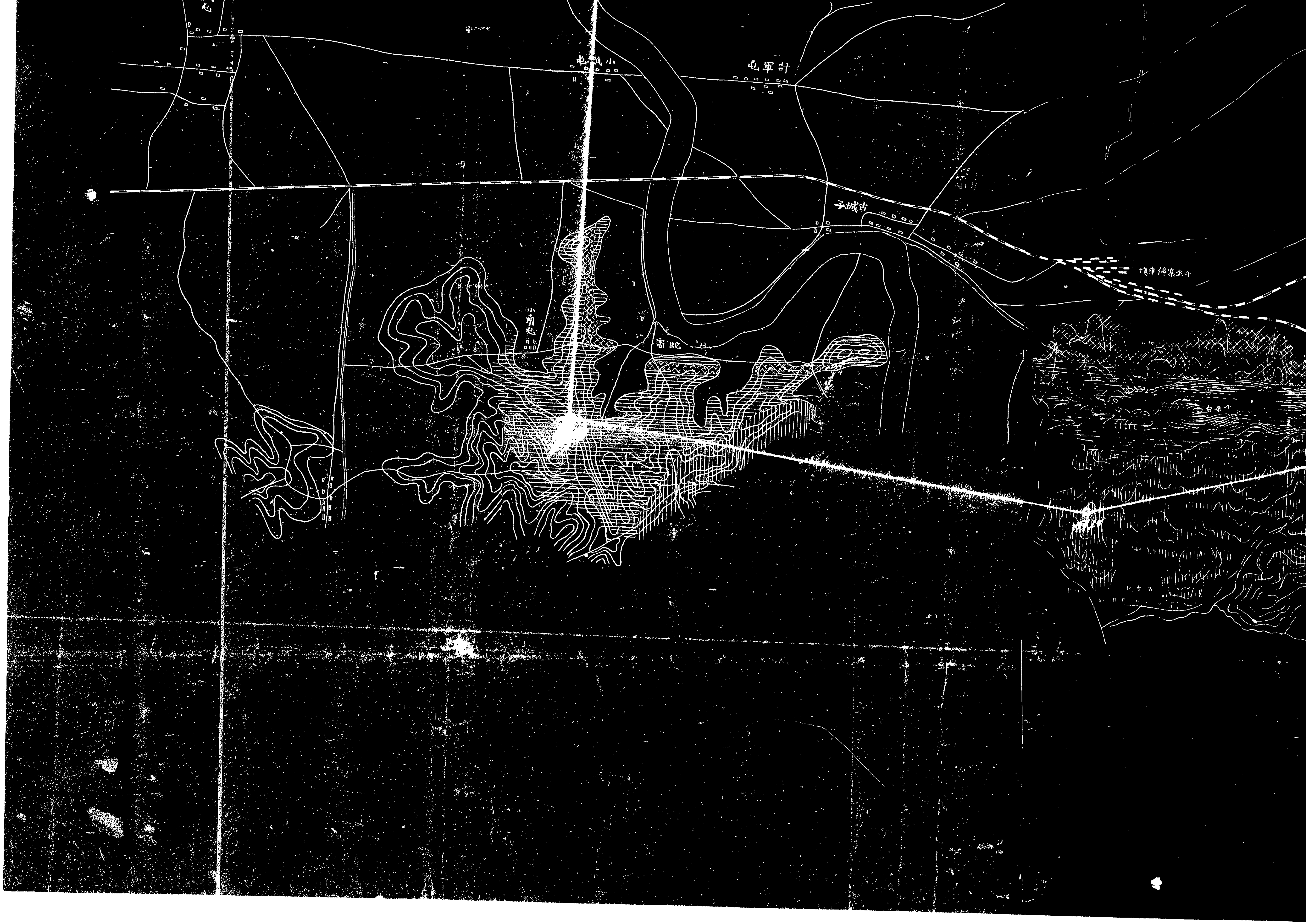
0375

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



1-1809

0377

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第17門

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

南満洲鐵道株式會社東京支社

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

南満洲鐵道株式會社東京支社

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第　号

副總裁宛　　　總裁

石炭採掘税ヲ何程ニスヘキヤニ付本社ノ見込取調ヘ決定通知願フ○右輸出税ハ是非一ツメースニセシムル様外務省ニテ談判中

撫順炭輸出税

南滿洲鐵道株式會社東京支社

第　号

電[illegible]

十二月二十六日　発電

松田炭坑長　中村

伊集院公使ハ張総督ト協商ヲ遂ケ居ルモ一年[illegible]

撫順炭輸出税ハ鐵道ニ依ル炭ト同率ニ[illegible]

右電　十二月二十七日　返電

中村宛　松田

撫順炭輸出税ハ[illegible]

ト撫順炭又[illegible]

[illegible]

撫順炭輸出税

南滿洲鐵道株式會社

第17門

撫順炭礦出張所

南滿洲鐵道株式會社東京支社

第一課

四十一年五月十九日

總裁 中村是公

逓信大臣男爵後藤新平殿

撫順炭礦採掘區域ニ關シ

撫順炭礦採掘區域ヲ

一應ノ參考ニ供シ

送付致候

煙台全部ノ中尾明山大窯ノ一部ハ昔ヨリ
黙許シ來ル地域ナレバ曲利公司ニ採掘ヲ許シアリ
此界ヲ以テ採掘區域ト定メアリ尚撫順
ノ圖ハ會社ヘモ送付致候間
御參考ニ供シ候
右ニ付キ

南滿洲鐵道株式會社

1-1809

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

写

明治四十年五月二十三日

大塚信太郎

伊集院彦吉様

侍史

陳者過日御届得意様ニ御話置候件ニ付
為安心ニ助ケ候テ損失ヲ蒙ラシメサル様奉存候趣旨ニ
候ヘ共一方ニ於テ豆粕輸出ニ付テハ幾分ノ
鉄道ノ利益ヲ計リ候ヘ共本件ニ付テハ御
高見ノ大要ハ
一 豆粕ニテ大連ヨリ輸出スル場合ニ関
　平山東等ノ如キ以外ノ同様輸出税ヲ一般一

メイスノ事ハ無論信認致シ難ク候
二、船舶用石炭ヲ無税トスル事ハ不得已次第
同意致シ候
三、仮令開平同様一噸一メイスノ輸出税ニ改正
致シ候トモ既納ノ税金ヲ拂戻サスル事ハ困
難ナリ
トノ事ニ御座候
右ニ関シ第一ノ件ハ最早トモ致シ置キノ外ナク左
ニ開陳致シ候
一、石炭ハ輸出税ヲ開平同様一噸一メイス
ニ一両改事[illegible]認メ込ミ之由

御承知ノ通リ当局ト我側ノ見込ミニテ之レ
ニ反シ候モ撫順炭ノ輸出税ヲ開平ト同率
ニ一両改事ハ到底山東省側左様ニ見ヘ
右撫順炭ハ全部相当ノ税ヲ此ニ於テ相違
ナリト承信シ居候此件ニ関シ税関ヨリ
依テ一噸一メイスノ輸出税ノ六ツ割取
的ニ全部ノ撫順炭税関ヨリ解決シ
事ハ先ツ以テ同意ニ一至リ現ニ開平、山東
山西等ノ炭ニモ輸出税ノ外ニ釐金税
ハ勿論税其他雑種ノ名
義ノ下ニ何等カノ税金ヲ支払居ル次第

付紀結ニ拘ラス所定ニ對シ之ヲ免除ス
ル例ヲ踏ミ輸出稅以前ニ稅金同額ヲ控除スル事
ニ至リシ後ハ慣例ヲ踏襲スルニ至リ今ニ
ハ從來ノ慣例ニ依ル事困難ナル事ニ一ヲ紙
寧ロ稅金ヲ以テ修正スル方ヲ利トスル
處ノ稅率御確定アル方然シ稅法公
ノ稅金（参考ノ為ノ補充ナシ）ヲ徴収スルヲ一ヌ
イス以上ノ指摘ニ於テハ無條件ニテ繼續
セシメラレ一ヲ除キ申メイス前條ニ依ル
宜シク其ノ様御承認相成ル

二

船舶用石炭ハ免稅ト為サヽル事ニ關

南滿洲鐵道株式會社

範圍ニ於テハ所謂他ノ開平炭等ニ準シ
船舶用炭ニ對シテハ前例同様ノ稅金
支拂ヲ免除シ其ノ方法ハ撫順ヨリ協定セ
ル場合ニ付テ為シタル第一項ノ開平炭ト
共ニ如ク解決セラル以上ニ於テ船舶用炭
ニ對シテモ同様ノ稅金並附加稅ヲ左迄
免除ニ於テモ其ノ筋ニ於テ直接船舶
用炭免稅分ニ關シ輸出稅ハ納付スル所
配慮ヲ煩ハシタル趣旨ハ寧ロ此ノ種
以テ第一項所謂ヲ本件ノ解決ヲ希
フノ事實ヲ見ル結果ニ鑑ミ協議致候

南滿洲鐵道株式會社

1-1809

0383

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

南滿洲鐵道株式會社

[illegible]

三

[illegible]

南滿洲鐵道株式會社

[illegible]

1-1809

0384

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

俟ツノ結果ヲ山東ニ於ケル鉱業ノ[illegible]
保護ヲ与フル事ニ就テハ[illegible]
[illegible]有[illegible]ノ[illegible]ニ[illegible]
[illegible]鉱業権[illegible]税[illegible]
[illegible]鉱税ハ鉱区[illegible]ノ規定
[illegible]解釈[illegible]ノ鉱税ハ
[illegible]事ニ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
メイスノ鉱区税ハ規定ノ[illegible]
[illegible]
[illegible]

解釈ニ従ヘハ[illegible]鉱税
カ一メイスノ規定ヲ適用セサル因ニシテ三メ
イスナリトノ規定モ亦同様[illegible]
[illegible]ハ
Native Coal 3 mace per ton
ノ鉱税[illegible]採掘[illegible]
Native Coal [illegible]
カラ一ニ[illegible]トナシ[illegible]
[illegible]解釈[illegible]
[illegible]規定[illegible]
又[illegible]

1-1809

0385

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第17門

大塚理事宛

總裁

伊集院公使ノ請求ニ付當方ヨリ主張スヘキ撫順及烟臺炭坑ノ區域図至急御送付願フ旨松田氏ヘ電報シタリ就テハ烟臺ニ關スル證據書類本社ニ在ル分直ク送付請フ

南滿洲鐵道株式會社東京支社

撫順炭礦

[illegible]

南滿洲鐵道株式會社

1-1809

0386

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/